山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第 313 集

甲府城跡

－ 県庁舎耐震化等整備事業に伴う確認調査、発掘調査および立会調査 －

２０１７年３月

山梨県教育委員会
山 梨 県 総 務 部

山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第三一三集

甲府城跡

二〇一七・三

山梨県教育委員会
山梨県総務部

山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第 313 集

甲府城跡

こう　ふ　じょう　あと

－ 県庁舎耐震化等整備事業に伴う確認調査、発掘調査および立会調査 －

２０１７年３月

山梨県教育委員会
山 梨 県 総 務 部

甲府城跡

こう ふ じょう あと

－ 県庁舎耐震化等整備事業に伴う確認調査、発掘調査および立会調査 －

２０１７年３月

山梨県教育委員会
山 梨 県 総 務 部

左から　遺物　第７図３、　第 11 図 36、第９図 12、 第 16 図 83

左から　遺物　第 48 図 14、第８図７、第 11 図 39、第 48 図 13

口絵３・４

左から　遺物　第 36 図 4、第 36 図 5、第 37 図 7、第 39 図 10

左から　遺物　第 43 図 24、第 37 図 6、第 40 図 12、第 31 図 4

左から　遺物　第 39 図 11、第 38 図 8、第 35 図 1、第 15 図 82

左上から　遺物　第 18 図 91、第 17 図 87、第 18 図 90、第 19 図 93
左下から　遺物　第 40 図 13、第 35 図 3、第 21 図 115、第 46 図 1

口絵７・８

左上から　遺物　第 41 図 2、第 8 図 9、第 13 図 54、第 12 図 53
左下から　遺物　第 18 図 92、第 47 図 11、第 17 図 86

左から　遺物　第 11 図 33、第 10 図 29、第 10 図 25、上）第 8 図 4、下）第 10 図 27

上段　遺物　第 52 図 4、第 11 図 34、第 47 図 2、第 4 図 56、第 11 図 35
中段　遺物　第 8 図 2、第 4 図 55、第 5 図 71、第 52 図 3、第 13 図 56
下段　遺物　第 15 図 76、第 15 図 78、第 14 図 74、第 27 図 4

上段　遺物　第 52 図 1、第 14 図 69、第 30 図 2、第 31 図 1
中段　遺物　第 45 図 2、第 52 図 6、第 42 図 13、第 42 図 15、第 8 図 5
下段　遺物　第 14 図 67、第 41 図 4、第 41 図 6、第 14 図 68

口絵 11

左上から　遺物　第 14 図 72、第 10 図 26、第 13 図 59、第 13 図 62
左下から　遺物　第 52 図 7、第 8 図 1、第 2 図 23

平成 26 年 7 月 5 日　現地説明会実施

あらまし

山梨県庁は、県指定史跡甲府城跡の城内に建設されています。そして、県庁舎は甲府城内の「楽屋曲輪」をはじめとし、「屋形曲輪」と「清水曲輪」の一部に位置しています。

平成２４年度から平成２７年度まで「県庁舎耐震化等整備事業」に伴い、県庁構内各所において工事が実施されてきました。特に、「防災新館建設事業」では、災害発生時に中心的な役割を果たす防災関連部局、子供の安全を担う教育委員会などを集中的に配置した計画の中で建設されました。

今回の調査では、甲府城築城期の石垣や水路、追手門の礎石そして温泉施設に関する遺構などが見つかりました。現在の本館の東にある噴水施設の下には、数段に積まれた石垣やその脇につくられた水路が、調査後に埋め戻されて保存されています。

左の写真の中央は石垣で囲まれた土塀跡で、その右は水路跡です。

下の写真は、数段に積まれた石垣です。

石組み水路の北側（別館側）からは、木製品や瓦などがたくさん出土しました。そして、水路の南端には木桶が埋められていました。どういう施設なのか不明ではありますが、現在の溜め枡の

ような役割だったのでしょうか。

また、県庁の東門の調査では、絵図に描かれている築城期の追手門の礎石が確認されました。

礎石（右の写真）には四角い穴と丸い穴があります。四角は門柱を立てた「ホゾ穴」で丸は扉の軸を支えた「軸摺穴」（じくずりあな）です。この礎石の発見が門の存在を示しています。

さて、温泉施設に関連する跡ですが、これは現在の委員会室棟の下で発掘調査によって見つかりました。この施設は、調査後に丁寧に埋め戻され静かに眠っています。平坦な石をきれいに敷き詰め、石積み列で区画されていました。そしてこの

石積み列の側面には、水平方向に黒い付着物が残されていました。

絵図を見ると、発見された場所と同じ位置に「湯出ル」と記述されています。温泉であるかどうかは別として、湯が出ていたであろう事は想像され、明らかに「水」と区別しているものと思われますが、現在と当時の感覚とは異なっていたのかもしれません。

また、「湯」の温度の感覚も異なっていたのではないでしょうか。ぬるい水が「湯」なのか、それとももう少し温かかったのが「湯」と表現されたのか、想像するしかないのでしょうか。

甲府城跡は、豊臣秀吉の命により文禄・慶長年間（1590年代）に築城されました。城内に残る築城期の石垣は「野面積み」と呼ばれ、この石垣は全国的に見てもとても価値のある建造物です。

しかし、甲府城の建造物は様々な経緯の中で大修理などが行われました。享保12年には甲府の大火において鉄門は焼失を免れましたが、屋根の葺き替えなども行われました。

その後、明治維新を迎えると明治６年に甲府城は廃城となり、明治36年、中央線の開通により終に甲府城は「清水曲輪」などを失うこととなりました。

そのような中で、平成16年には稲荷櫓が復元され、その後、平成25年には鉄門が復元され現在に至っています。

県庁構内で調査をしていると、石垣や水路にも加工がほとんどされていない自然の石が使われているのを見ることができます。たとえ遺物の出土はなかったとしても、素材を見ることである程度の時代を判断することもできます。

県庁構内には、まだまだわからないことが地下にたくさん眠っています。今回見つかったたくさんの遺構は、現地に埋設保存され再び眠りについています。

序　　文

本報告書は、山梨県庁耐震化等整備事業に伴い、本センターが平成２４年度から平成２７年度に県庁構内で行った発掘調査、確認調査、ならびに立会調査の記録等をまとめたものです。

甲府城跡は、戦国時代の雄、武田氏滅亡以後、文禄から慶長年間に豊臣政権下において築城が開始された近世の城郭で、徳川政権となった江戸時代を通じても、300 年間にわたって甲斐国の政治の中枢としての役割を果たしてきました。

明治時代以降、甲府城跡は勧業試験場や甲府中学校などの利用を経て、昭和５年には城内の西側に山梨県庁舎が移築され、以後整備された県庁舎本館、県会議事堂などとともに、現在に至るまで山梨県の政治の中心として機能しています。

平成 14 年度以降、県庁本館の免震対策工事が開始され、本センターでは県庁構内におけるオイルタンクの設置、電気配線の埋設などさまざまな事業に対して、発掘調査や立会調査を実施して、遺構の記録や埋設保存に向けて努めてきました。

特に、防災新館建設では、第一南別館および第二南別館の取り壊しにより確認された石垣の解体調査が実施され、それらの情報を基に防災新館地下１階に石垣の一部移築・復元と甲府城石垣展示室の設置が行われました。この施設は、平成 25 年 11 月の供用開始以来、県庁舎を訪れる方々への石垣見学を通して、甲府城の歴史を知っていただく学習の場ともなっています。

今回報告する調査内容には、甲府城絵図にも記載されている温泉施設に関連する遺構や楽屋曲輪内の石積み、甲府城の入り口施設である追手門の礎石、排水施設など、これまで実態が不明であった貴重な遺構が数多く含まれています。

これらの成果が、甲府城の歴史の理解や城郭研究の一助となり、多くの県民の皆さまに活用されることを願っております。

末筆ではありますが、本書の刊行にあたりまして、多大なご協力をいただきました関係各位に心より御礼申しあげます。

平成 29 年３月

山梨県埋蔵文化財センター
所　長　中　山　誠　二

例　　言

1　本報告書は、平成 24 年度から平成 27 年度までの山梨県甲府市丸の内 1 丁目 6 番 1 号に所在する山梨県庁構内で実施された甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業に伴う確認調査、発掘調査および立会調査の成果についてまとめたものである。

2　書籍名は、甲府城跡　県庁舎耐震化等整備事業に伴う確認調査、発掘調査および立会調査である。

3　各事業については、山梨県総務部から山梨県教育委員会が委託を受け、山梨県埋蔵文化財センター (以下「センター」という) が調査を実施し整理・報告作業を行った。

4　各事業の報告は、調査年月日の早い順序で記載しているが、発掘調査に至る経過については立会調査や確認調査を先に記載し、その後に発掘調査の順で行った。

5　各事業の記録写真、遺構図版、遺物図版および写真図版については、事業毎にまとめた。

6　発掘調査などに関わる測量基準点等は、渡り廊下・委員会室棟・県庁構内西門周辺・県庁構内東門・東門石垣写真測量・東門礎石写真測量・東門周辺外構・県庁構内西門石垣写真測量・県庁構内東門 3 次元測量・委員会室棟 3 次元測量については、昭和測量株式会社に委託した。

7　陶磁器の出土遺物図化については、株式会社テクノプラニングに委託した。

8　防災新館北側の出土骨の同定については、パリノ・サーヴェイ株式会社へ委託した。

9　渡り廊下地点にかかる自然科学分析については、パリノ・サーヴェイ株式会社へ委託した。

10　木製品の実測および樹種同定については、パリノ・サーヴェイ株式会社へ委託した。

11　遺物の集合写真については、スタジオトータルアイへ委託した。

12　マルチヘリコプターによる空中写真撮影については、昭和測量株式会社に委託した。

13　本書の執筆・編集については、主幹・文化財主事　浅川一郎と主査・文化財主事　三田村美彦と臨時職員山本茂樹が行った。また、各事業の執筆については、センターが刊行した年報および終了報告に基づいて、各事業の担当者の記録から山本が作成した。なお、調査担当者については、各事業報告に掲載した。

14　本書に掲載した甲府市の遺跡地図については、甲府市史 史料編 第一巻 原始 古代 中世 (平成元年三月発行) を基に 1/50,000 地形図で作成した。

15　本書に関わる写真および記録類、出土遺物等についてはセンターに保管してある。

16　本報告書の作成に際しては、次の機関から協力をいただいた。金沢市立玉川図書館　津田文庫、甲府市教育委員会、橿原考古学研究所、山梨県総務部管財課、同営繕課（順不同、敬称略）

凡　　例

1　委員会室棟および前庭地点での座標については、世界測地系座標によって設定した。

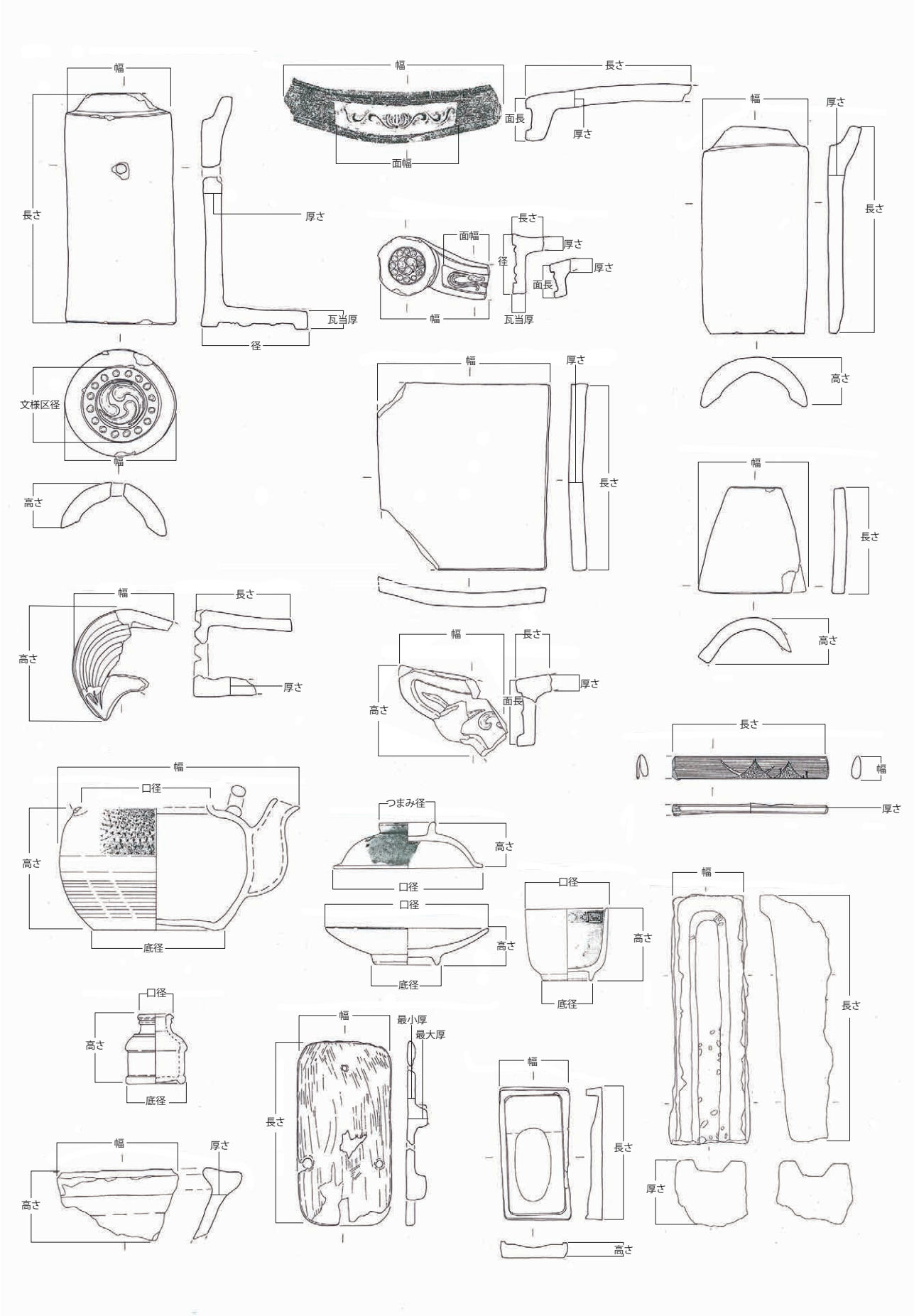
2　本書に掲載した遺構および遺物の縮尺については、図版中に示した。遺物については 1 ／ 4 を基準としたが、土器・陶磁器・ガラス製品は 1 ／ 3 、瓦類は 1 ／ 6 、瓦の印刻の拓本・小柄・鉄砲玉は 1 ／ 2 、下駄は 1 ／ 4 、木桶は側板が 1 ／ 3 、底板が 1 ／ 4 である。

3　遺物の計測については、次ページの模式図のとおりである。

4　調査位置図、遺跡分布図、遺構図等については「第○図」と付し、遺物図版については、「遺物　第○図」とした。また、写真図版については、「写真図版　○」とし、各図版で通し番号にした。

5　表については、全て通し番号にした。

6　文中の赤字は、各事業での遺構の有無および遺構の保護方法など重要な事柄について示した。



模式図

目　　次

口　　絵
あらまし
　序
例　　言
凡　　例
目　　次

第１章　経過
第１節　調査に至る経過 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
第２節　調査の目的と課題 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
第３節　発掘作業の経過 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
第４節　整理作業の経過 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

第２章　遺跡の位置と環境
第１節　地理的環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
第２節　歴史的環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
第３節　基本層序 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

第３章　発掘・確認・立会調査
Ⅰ　甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業　発掘調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
1-1）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業　県庁構内委員会室棟改築工事に伴う確認調査 ・・・・・ 33
1-2）県庁構内委員会室棟改築工事に伴う１次発掘調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
1-3）県庁構内委員会室棟改築工事に伴う２次発掘調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
1-4）県庁構内委員会室棟改築工事に伴う試掘確認調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
1-5）県庁構内委員会室棟改築工事に伴う３次発掘調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
2-1）甲府城跡県庁構内前庭地点　確認調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
2-2）甲府城跡県庁構内前庭地点　発掘調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
3-1）別館改修工事本館―別館間渡り廊下基礎撤去に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・ 118
3-2）別館改修工事本館―別館間渡り廊下基礎撤去に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・ 118
3-3）別館改修工事本館―別館間渡り廊下建設に伴う発掘調査 ・・・・・・・・・・・・・・・ 122
4-1）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業に伴う防災新館北側　発掘調査 ・・・・・・・・・・・ 123
4-2）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業に伴う防災新館東側　立会調査 ・・・・・・・・・・・ 125
5-1）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（県庁構内東門周辺地点）に伴う第１次発掘調査 ・・・・ 129
5-2）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（県庁構内東門周辺地点）に伴う第２次発掘調査 ・・・・ 134
６）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（県庁構内西門周辺地点）に伴う発掘調査 ・・・・・・・ 136

Ⅱ　甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業　確認調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 143
1）甲府城下町遺跡県庁舎耐震化等整備事業（春日別館）に伴う確認調査 ・・・・・・・・・・ 143
2）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（県庁構内外構整備工事）に伴う試掘確認調査 ・・・・・・ 145

Ⅲ　甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業　試掘調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 155
1）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（ボイラー室基礎撤去）に伴う試掘調査 ・・・・・・・・・・ 155

Ⅳ　甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業　立会調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 159
1）甲府城跡防災新館建設事業に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 159
2）甲府城跡県庁構内整備事業に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 163
3）甲府城跡県庁構内別館整備事業に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 163
4）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（防災新館東側）に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・ 164
5）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 165
6）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（県庁東別館解体仮設工事）に伴う立会調査 ・・・・・・・・ 165
7）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（焼却場他撤去）に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・ 166
8）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（鉄塔他撤去）に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・・ 169
9）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 170
10）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 170
11）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 174
12）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 175
13）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 184
14）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（県警本部車庫撤去工事）に伴う立会調査 ・・・・・・・・・ 184
15）甲府城下町県庁舎耐震化等整備事業（旧県庁東別館既設管撤去工事）に伴う立会調査 ・・・・ 186
16）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 186
17）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 195
18）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 197
19）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 199
20）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（委員会室棟改築工事）に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・ 200
21）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 200
22）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（外構整備工事）に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・ 203
23）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（外構整備工事・駐輪場他整備工事）に伴う立会調査 ・・・ 205
24）甲府城下町遺跡県庁舎耐震化等整備事業（防災新館駐輪場建設工事）に伴う立会調査 ・・・・ 206
25）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（外構整備工事）に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・ 206
26）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 207
27）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（外構整備工事）に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・ 214
28）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（玄関スロープ改修工事）立会調査 ・・・・・・・・・・・・ 214
29）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（外構整備植栽工事）に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・ 216
30）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（委員会室棟改築工事）に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・ 217
31）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（外構整備工事）に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・ 218
32）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（外構整備植栽工事）に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・ 219
33）甲府城跡県庁舎耐震化等整備事業（外構整備事業）に伴う立会調査 ・・・・・・・・・・・・・ 221
立会調査一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 238
遺物観察表 ・・ 250

第４章　自然化学分析 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 260

第５章　まとめ ・・ 267

調査位置図・遺跡分布図・遺構図　目次

第 1 図　調査位置図（1）　…… 2
第 2 図　調査位置図（2）　…… 3
第 3 図　甲府城全体図　…… 4
第 4 図　県庁構内概要図（整備前）　…… 5
第 5 図　県庁構内概要図（整備後）　…… 6
第 6 図　遺跡分布図（縄文時代）　…… 13
第 7 図　遺跡分布図（縄文時代）　…… 14
第 8 図　遺跡分布図（弥生時代）　…… 15
第 9 図　遺跡分布図（古墳）　…… 16
第 10 図　遺跡分布図（古墳時代の遺跡）　…… 17
第 11 図　遺跡分布図（奈良・平安墳時代）　…… 18
第 12 図　遺跡分布図（奈良・平安墳時代）　…… 19
第 13 図　遺跡分布図（奈良・平安墳時代）　…… 20
第 14 図　遺跡分布図（中・近世城館）　…… 21
第 15 図　遺跡分布図（中・近世城館）　…… 22
第 16 図　遺跡分布図（中・近世城館を除く）　…… 23
第 17 図　遺跡分布図（中・近世城館を除く）　…… 24
第 18 図　基本模式土層図　…… 32

Ⅰ 1-1) 県庁構内委員会室棟

第 19 図　平成 24 ～ 26 年度委員会室棟調査位置図　…… 40
第 20 図　平成 24 年度委員会室棟確認調査　トレンチ位置図・トレンチ平面図・土層図〔1〕　…… 41
第 21 図　平成 24 年度委員会室棟確認調査　トレンチ平面図・土層図〔2〕　…… 42
第 22 図　平成 24 年度委員会室棟第 1 次調査　全体図　…… 43
第 23 図　平成 24 年度委員会室棟第 1 次調査　1 号石組水路・2 号石組水路　…… 44
第 24 図　平成 24 年度委員会室棟第 1 次調査　溝・土坑・瓦列　…… 45
第 25 図　平成 24 年度委員会室棟第 1 次調査　基本土層図（調査区北壁東側土層堆積状況）…… 46
第 26 図　平成 25・26 年度委員会室棟第 2 次・第 3 次調査　合成全体図　…… 47
第 27 図　平成 25・26 年度委員会室棟第 2 次・第 3 次調査
南西部平面図・1 号～ 3 号トレンチ土層図　…… 48
第 28 図　平成 25・26 年度委員会室棟第 2 次・第 3 次調査
H25-1 号敷石・H25-1 号溝・H25 石列 2・H25 石列 3・H25 石列 4 平面図　…… 49
第 29 図　平成 25・26 年度委員会室棟第 2 次・第 3 次調査
H25-2 号溝・H25-3 号溝・H25 石列 1・H26-3 号溝平面図　…… 50
第 30 図　平成 25・26 年度委員会室棟第 2 次・第 3 次調査　北東部平面図　…… 51
第 31 図　平成 26 年度委員会室棟第 3 次調査　H26-1 号溝・H26-1 号暗渠平面図　…… 52
第 32 図　平成 26 年度委員会室棟第 3 次調査　H26-2 号溝・H26-1 号土坑・H26 石列 1 平面図　・ 53
第 33 図　平成 25・26 年度委員会室棟第 2 次・第 3 次調査　土層図・断面図・見通図〔1〕　…… 54
第 34 図　平成 25・26 年度委員会室棟第 2 次・第 3 次調査　土層図・断面図・見通図〔2〕　…… 55
第 35 図　平成 25・26 年度委員会室棟第 2 次・第 3 次調査　土層図・断面図・見通図〔3〕　…… 56
第 36 図　平成 25・26 年度委員会室棟第 2 次・第 3 次調査　航空写真測量による平面図　…… 57-58
第 37 図　平成 25・26 年度委員会室棟第 2 次・第 3 次調査　航空写真測量による断面図　…… 59-60
第 38 図　平成 26 年度委員会室棟確認調査　位置図・トレンチ平面図・模式土層図　…… 61

2-1) 県庁構内前庭地点

第 39 図　平成 27 年度外構整備確認調査　トレンチ位置図・1 号トレンチ　…… 75
第 40 図　平成 27 年度外構整備確認調査　2 号トレンチ・3 号トレンチ　…… 76
第 41 図　平成 27 年度外構整備確認調査　4 号トレンチ・5 号トレンチ　…… 77
第 42 図　平成 27 年度外構整備確認調査　7 号トレンチ　…… 78
第 43 図　平成 27 年度前庭地点　調査位置図　…… 79
第 44 図　平成 27 年度前庭地点　全体図　…… 80
第 45 図　平成 27 年度前庭地点　石垣・1 号石組水路〔1〕（北部）　…… 81
第 46 図　平成 27 年度前庭地点　石垣・1 号石組水路〔2〕（中部）　…… 82
第 47 図　平成 27 年度前庭地点　石垣・1 号石組水路〔3〕（南部）　…… 83
第 48 図　平成 27 年度前庭地点　石垣ー 1 号石組水路立面図〔1〕　…… 84
第 49 図　平成 27 年度前庭地点　石垣ー 1 号石組水路立面図〔2〕　…… 85
第 50 図　平成 27 年度前庭地点　石垣ー 1 号石組水路立面図〔3〕　…… 86
第 51 図　平成 27 年度前庭地点　2 号石組水路平面図　…… 87
第 52 図　平成 27 年度前庭地点　南西部（瓦溜り）　…… 88

第 53 図　平成 27 年度前庭地点　土層図・断面図・見通図〔1〕 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
第 54 図　平成 27 年度前庭地点　土層図・断面図・見通図〔2〕 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 90
第 55 図　平成 27 年度前庭地点　土層図・断面図・見通図〔3〕 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
第 56 図　平成 27 年度前庭地点　土層図・断面図・見通図〔4〕 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
第 57 図　平成 27 年度前庭地点　瓦溜り・1 号石組水路南端埋め桶・石垣西面付近方形木材 ・・ 93
3-1)-3-3) 本館 - 別館間渡り廊下地点
第 58 図　平成 26 年度本館 - 別館間渡り廊下地点　調査位置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 119
第 59 図　平成 26 年度本館 - 別館間渡り廊下地点　平面図・トレンチ土層図〔1〕 ・・・・・・ 120
第 60 図　平成 26 年度本館 - 別館間渡り廊下地点
トレンチ土層図〔2〕・集石 1 ～ 5・1 号瓦溜り・1 号暗渠 ・・・・・・・・・・・・・ 121
4-1)-4-2) 防災新館北側・東側
第 61 図　平成 25 年度防災新館北側地点・東側地点　調査位置図・遺構位置図 ・・・・・・・・・ 124
第 62 図　平成 25 年度防災新館北側地点・東側地点　土層図・石組水路・石列 ・・・・・・・・・ 126
5-1)-5-2) 県庁構内東門周辺
第 63 図　平成 27 年度東門周辺地点第 1 次・第 2 次調査位置図・全体図 ・・・・・・・・・・・ 130
第 64 図　平成 27 年度東門周辺地点第 1 次・第 2 次調査平面図 ・・・・・・・・・・・・・・・ 131
第 65 図　平成 27 年度東門周辺地点第 1 次調査　石垣北面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 132
第 66 図　平成 27 年度東門周辺地点第 1 次調査　石垣南面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 133
第 67 図　平成 27 年度東門周辺地点第 2 次調査　追手門礎石 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 137
6) 県庁構内西門周辺地点
第 68 図　平成 27 年度西門周辺地点　調査位置図・全体図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 138
第 69 図　平成 27 年度西門周辺地点　平面図・土層図・立面図 ・・・・・・・・・・・・・・・ 139
Ⅱ 1) 春日別館
第 70 図　平成 24 年度春日別館跡地試掘調査　位置図・平面図・トレンチ土層図 ・・・・・・・ 144
2) 県庁構内外構整備　試掘確認調査
第 71 図　平成 26 年度外構整備確認調査　トレンチ位置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 146
第 72 図　平成 26 年度外構整備確認調査　1 号トレンチ・2 号トレンチ ・・・・・・・・・・・ 147
第 73 図　平成 26 年度外構整備確認調査　3 号トレンチ・4 号トレンチ ・・・・・・・・・・・ 148
第 74 図　平成 26 年度外構整備確認調査　5 号トレンチ・6 号トレンチ ・・・・・・・・・・・ 149
第 75 図　平成 26 年度外構整備確認調査　7 号トレンチ・8 号トレンチ ・・・・・・・・・・・ 150
第 76 図　平成 26 年度外構整備確認調査　9 号トレンチ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 151
Ⅲ 1) ボイラー室基礎撤去
第 77 図　平成 25 年度ボイラー室跡確認調査　位置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 156
Ⅳ　立会調査
第 78 図　平成 24 年度立会調査位置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 160
第 79 図　平成 25 年度立会調査位置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 161-162
第 80 図　平成 25 年度立会調査 25-09 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 172
第 81 図　平成 25 年度立会調査 25-10 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 173
第 82 図　平成 25 年度立会調査 25-15 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 185
第 83 図　平成 26 年度立会調査位置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 191-192
第 84 図　平成 26 年度立会調査 26-02・26-06・26-07 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 193
第 85 図　平成 26 年度立会調査 26-03 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 194
第 86 図　平成 26 年度立会調査 26-05・26-14 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 196
第 87 図　平成 26 年度立会調査 26-10・26-11 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 201
第 88 図　平成 26 年度立会調査 26-15 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 208
第 89 図　平成 26 年度立会調査 26-19・26-25・26-22 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 209
第 90 図　平成 26 年度立会調査 26-58 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 220
第 91 図　平成 27 年度立会調査位置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 225-226
第 92 図　平成 27 年度立会調査 27-07・27-42 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 227
第 93 図　平成 27 年度立会調査 27-18 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 228
第 94 図　平成 27 年度立会調査 27-20・27-26〔1〕 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 229
第 95 図　平成 27 年度立会調査 27-20・27-27 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 230
第 96 図　平成 27 年度立会調査 27-30 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 231
第 97 図　平成 27 年度立会調査 27-37〔1〕 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 232
第 98 図　平成 27 年度立会調査 27-37〔2〕 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 233
第 99 図　平成 27 年度立会調査 27-51・27-53・27-58〔1〕 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 234
第100図　平成 27 年度立会調査 27-51・27-53・27-58〔2〕 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 235
第101図　平成 27 年度立会調査 27-46・27-64 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 236

遺物図版　目次

Ⅰ　1-1) 県庁構内委員会室棟
第 1 図　委員会室棟確認調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
第 2 図　委員会室棟 1 次調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
第 3 図　委員会室棟 1 次調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
第 4 図　委員会室棟 2 次・3 次調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
第 5 図　委員会室棟 3 次調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
第 6 図　委員会室棟 3 次調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
2-1)-2-2) 県庁構内前庭地点
第 7 図　前庭地点試掘 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
第 8 図　H27 前庭地点・1 号石組水路 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
第 9 図　H27 前庭地点・1 号石組水路 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 96
第 10 図　H27 前庭地点・1 号石組水路 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
第 11 図　H27 前庭地点・1 号石組水路 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98
第 12 図　H27 前庭地点・1 号、2 号石組水路 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
第 13 図　H27 前庭地点・2 号石組水路、石垣、トレンチ ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
第 14 図　H27 前庭地点・トレンチ、1 号瓦溜り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
第 15 図　H27 前庭地点・1 号瓦溜り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 102
第 16 図　H27 前庭地点・1 号瓦溜り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 103
第 17 図　H27 前庭地点・1 号瓦溜り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 104
第 18 図　H27 前庭地点・1 号瓦溜り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 105
第 19 図　H27 前庭地点・1 号瓦溜り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 106
第 20 図　H27 前庭地点・1 号瓦溜り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 107
第 21 図　H27 前庭地点・2、3 号瓦溜り、表土一括 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 108
第 22 図　木桶（側板材） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 109
第 23 図　木桶（側板材） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 110
第 24 図　木桶（側板材） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 111
第 25 図　木桶（底板材） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 112
3-1)-3-3) 本館 - 別館間渡り廊下地点
第 26 図　本館 - 別館間渡り廊下地点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 122
4-1)-4-2) 防災新館北側・東側
第 27 図　防災新館北側・東側 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 128
5-1)-5-2)・6) 県庁構内東門周辺地点
第 28 図　東門・西門周辺 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 140
Ⅱ　1) 春日別館
第 29 図　春日別館 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 143
2) 県庁構内外構整備
第 30 図　県庁構内外構整備　試掘確認調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 152

Ⅲ　1) ボイラー室基礎撤去
第 31 図　ボイラー室基礎撤去 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 157
Ⅳ　7) 焼却場他撤去　立会調査
第 32 図　焼却場他撤去（木製品） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 167
第 33 図　焼却場他撤去（石製品） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 168
10) 県庁舎耐震化等整備事業　立会調査
第 34 図　県庁構内議事堂南側東エリア ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 174
12) 県庁舎耐震化等整備事業　立会調査
第 35 図　県庁構内別館北側西電気立会 (2 号礎石東瓦溜り
1.2) 北側西電気立会 (3) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 177
第 36 図　県庁構内別館北側西エリア ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 178
第 37 図　県庁構内別館北側西エリア ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 179
第 38 図　県庁構内別館北側西エリア ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 180
第 39 図　県庁構内別館北側西エリア ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 181
第 40 図　県庁構内別館北側西エリア ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 182
16) 県庁構内別館北側西エリア
第 41 図　県庁構内別館北側西エリア ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 187

第 42 図　県庁構内別館北側西エリア　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 188
第 43 図　県庁構内別館北側西エリア　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 189
18) 県庁構内別館北側東エリア
第 44 図　県庁構内別館北側東エリア（旧ボイラー室地点）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 198
21) 県庁構内別館北側西エリア
第 45 図　県庁構内別館北側西エリア（旧受水槽付近）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 203
23) 県庁舎耐震化等整備事業（外構整備・駐輪場他整備）
第 46 図　外構整備・駐輪場他整備　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 205
26) 県庁舎別館北西
第 47 図　県庁舎別館北西　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 211
第 48 図　県庁舎別館北西　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 212
第 49 図　県庁舎別館北西　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 213
27) 県庁構内外構整備
第 50 図　県庁構内外構整備（北別館南）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 215
30) 県議会議事堂委員会室棟
第 51 図　委員会室棟排水設備　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 218
33) 県庁構内外構整備事業
第 52 図　県庁構内外構整備（県庁構内各所）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 222
第 53 図　県庁構内外構整備（県庁構内各所）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 223

写真図版　目次

Ⅰ
1-1)-1-5) 県庁構内委員会室棟
1　委員会室棟　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
2　委員会室棟　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
3　委員会室棟　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
2-1)-2-2) 県庁構内前庭地点
4　前庭地点　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
5　前庭地点　1 号石組水路　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113
6　前庭地点　1 号、2 号石組水路、石垣、トレンチ、1 号瓦溜り　・・・・・・・・・・・・・・ 114
7　前庭地点　1 号瓦溜り　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 115
8　前庭地点　1 号、2 号、3 号瓦溜り、表土一括　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116
9　前庭地点　木製品（木桶）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 117
3-1)-3-3) 本館 - 別館間渡り廊下地点
10　本館 - 別館間渡り廊下地点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 123
4-1)-4-2) 防災新館北側・東側
11　防災新館北側・東側　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 129
5-1)-5-2)・6) 県庁構内東門・西門周辺地点
12　東門・西門周辺　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 141
Ⅱ
2) 県庁構内外構整備　試掘確認調査
13　県庁構内外構整備　試掘確認調査　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 153
Ⅲ
1) ボイラー室基礎撤去
14　ボイラー室基礎撤去　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 157
Ⅳ
12) 県庁舎耐震化等整備事業　立会調査
15　県庁構内別館北側西エリア　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 183
16) 県庁構内別館北側西エリア
16　県庁構内別館北側西エリア　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 190
17　県庁構内別館北側西エリア　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 195

18) 県庁構内別館北側東エリア
18　県庁構内別館北側東エリア（旧ボイラー室地点）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 198
21) 県庁構内別館北側西エリア
19　県庁構内別館北側西エリア (旧受水槽付近)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 203
23) 外構整備・駐輪場他整備
20　外構整備・駐輪場他整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 205
26) 県庁構内別館北西エリア
21　県庁構内別館北西エリア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 213
27) 県庁構内外構整備
22　県庁構内外構整備（北別館南）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 215
30) 県議会議事堂委員会室棟
23　委員会室棟排水設備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 218
33) 外構整備事業
24　県庁構内外構整備（県庁構内各所）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 224

表　目次

各時代の遺跡名・・ 25-30
立会調査一覧表・・ 238-249
遺物観察表・・ 250-259

第１章　経　過

第１節　調査に至る経過

県庁舎耐震化等整備事業について、山梨県は平成 21 年３月に「県庁舎耐震化等整備基本計画」を策定し、既存庁舎の集約建て替えと外構施設の整備を進めてきた。

今回の報告は、平成 24 年度から平成 27 年度までの県庁舎耐震化等整備事業に伴う県庁構内での発掘調査、確認調査、および立会調査の成果について報告するものである。また、事業にあたっては山梨県総務部管財課および山梨県教育委員会学術文化財課と協議を行い、県教委が調査にあたって埋蔵文化財センターと事業計画および調査日程などの協議、調整を行った。

調査にあたり検出された遺構については、現地保存を原則として遺構の上面を保護シートで覆い、遺構の保護に努めた。また、工事計画変更などを行っても尚且つ掘削が避けられない場合については、記録保存とする方針で事業を進めた。特に重要な遺構が検出された場合などは、県文化財保護審議会史跡部会に諮り遺構の保護・保存を実施した。

各事業の報告は、確認調査の後、発掘調査が実施されているものについては、確認調査をはじめに記載し、次に発掘調査の記録を記載した。

各調査の記載が終わったところで、立会調査を年度ごとに、原則的に日付の早いものから記載した。

遺物の図版については各事業報告の後に調査順に分けて掲載した。

各事業の調査範囲については、事業毎に小出ししてあるため、第４図・第５図の県庁構内概要図の建物等の配置図を参照していただきたい。また、必要に応じて各事業の位置図も掲載した。

各事業の工事名称であるが、事業の性格上、工事名称を「県庁舎耐震化等整備事業・・・」に伴う・・・・・・、「県庁構内・・・」に伴う・・・・・・とし、詳細な名称を避けた事業もある。

第２節　調査の目的と課題

県庁構内は、甲府城内の楽屋曲輪および屋形曲輪、清水曲輪に位置している関係上、周知の埋蔵文化財包蔵地である「甲府城跡」として調査が行われた。事業の大半は幅の狭い溝状の掘削であるため、立会調査を実施した。

また、改築工事など広い面積については、確認調査などを実施して遺構の有無により調査範囲を確定させ発掘調査を行った。

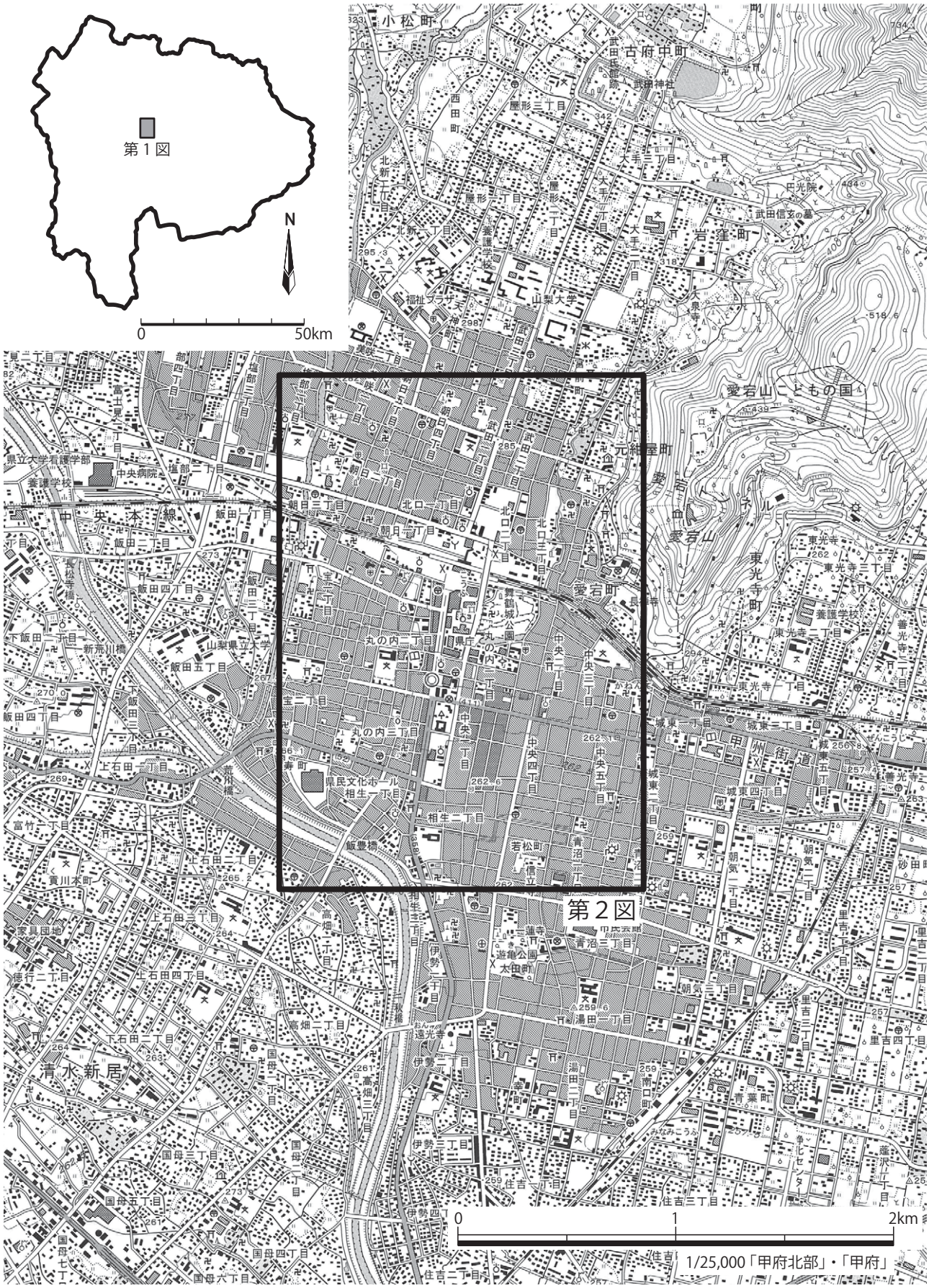
県庁構内では、掘削深度の浅い場所では地表下 60cm 前後で築城期の面が確認されているが、近現代の建造物建設時に造成などがなされているため、撹乱の著しい場所もあり、必ずしも築城期、或いは江戸時代の面が残されているとは言えない。そのため工事にあたっては、遺構等の遺存状況を把握するために確認調査や立会調査を実施していく必要があり、状況によっては保護・保存していくという課題もある。

工事によって検出された遺構の取り扱いについては現地保存を基本とし、今後の工事によって破壊されないよう遺構の上面に土嚢を積み、保護シートで覆いをした。しかし、工事設計変更を実施してもやむをえない場所については記録保存の措置をとるが、その範囲は極力最小限にとどめることも課題とした。

第３節　発掘作業の経過

本書の県庁舎耐震化等整備事業の内容は、平成 24 年度から平成 27 年度までの報告である。県庁構内の各事業において、立会調査や確認調査、そして発掘調査を実施してきた。発掘調査については、委員会室棟改築工事のための確認調査が平成 24 年５月 28 日～６月１日まで実施され、この確認調査により平成 25 年１月 21 日から２月 20 日まで第１次調査として発掘調査が行われた。

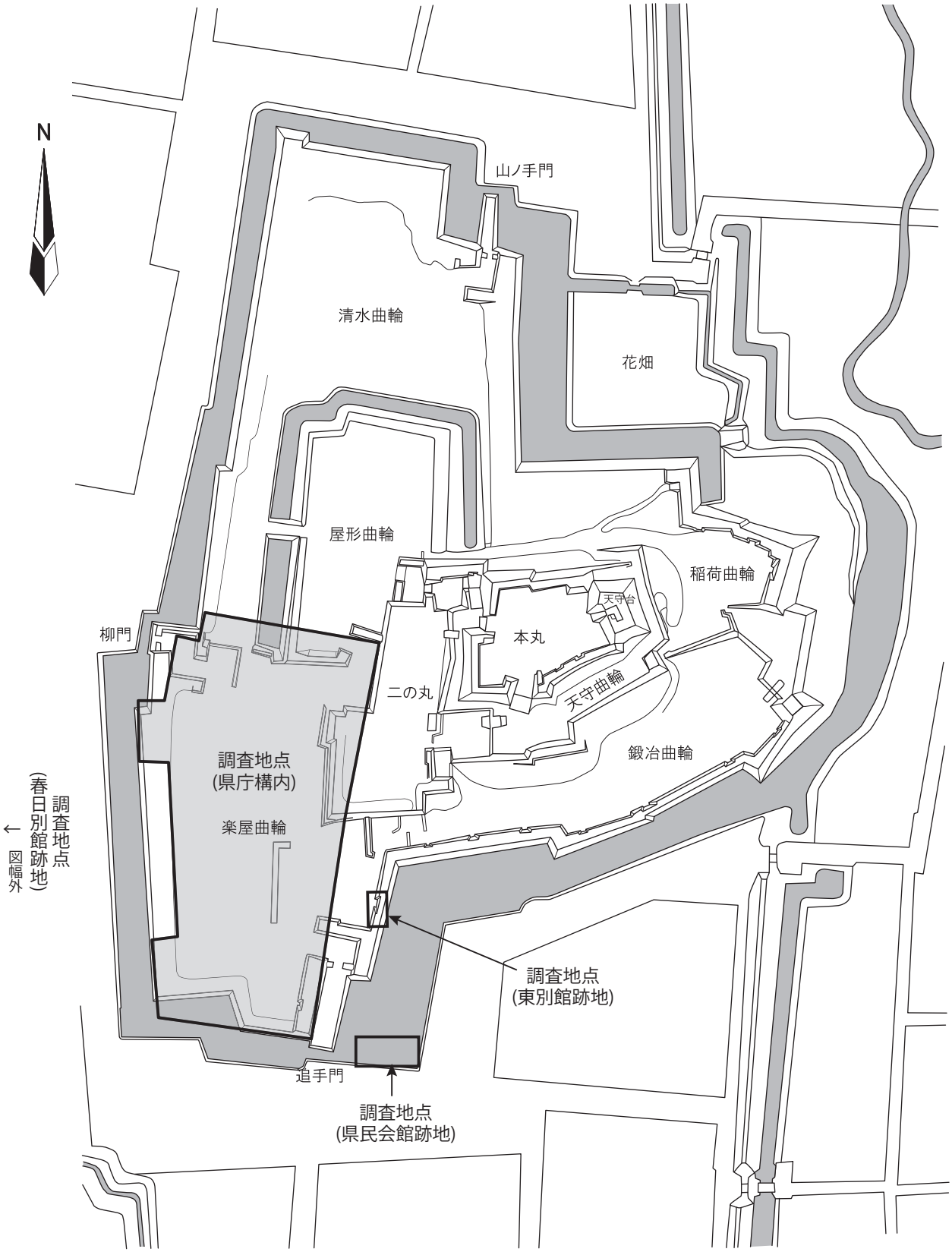
さらに第２次調査は平成 26 年２月 12 日から３月 24 日まで、第３次調査は平成 26 年４月 14 日から６月



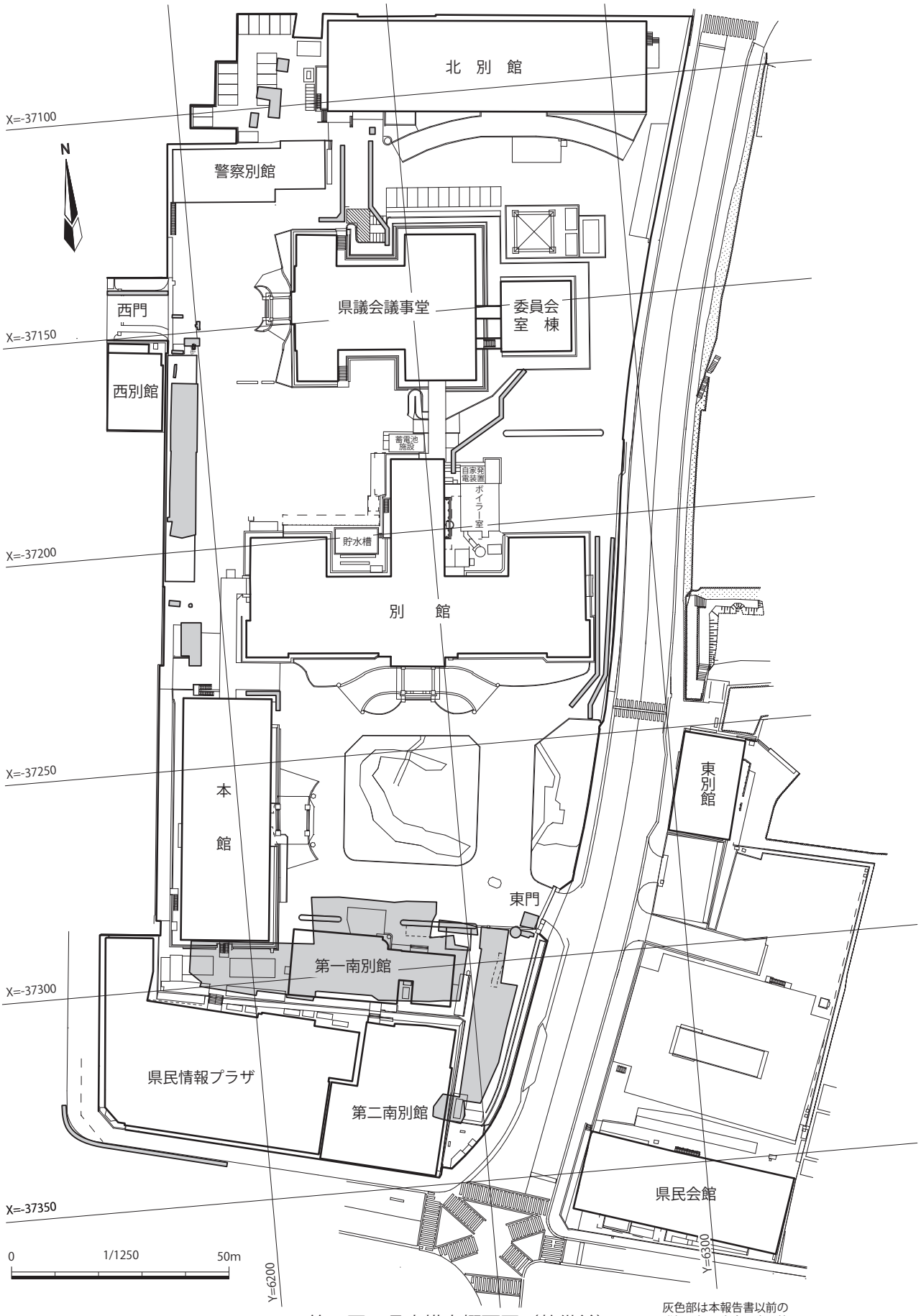
第１図　調査位置図（１）

N
三の堀
藤川
相川
二の堀
一の堀
本丸
県庁構内
東別館跡地
春日別館地点
県民会館跡地
相川
藤川
二の堀
三の堀
0
1/10000
500m

第２図　調査位置図（２）

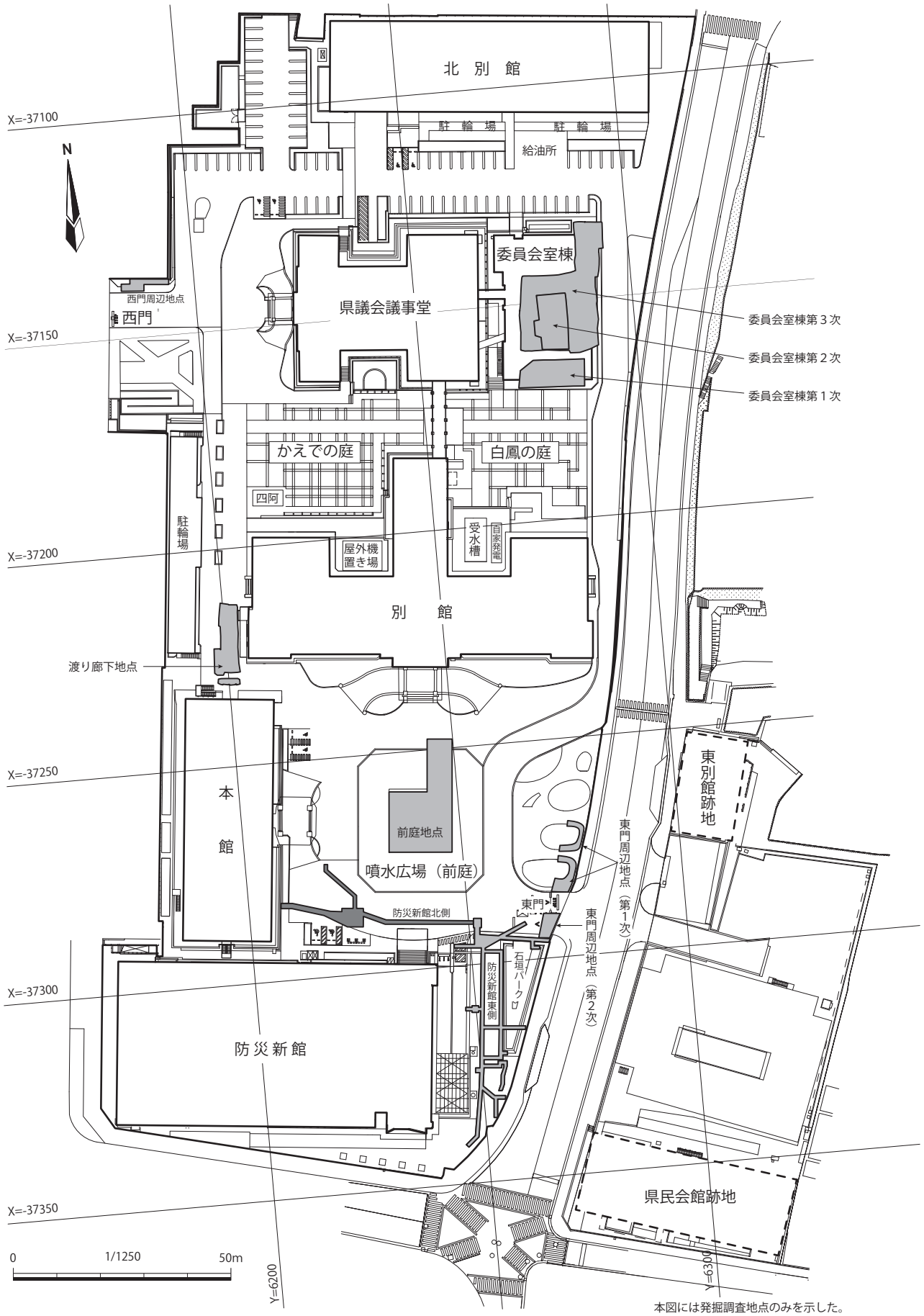

N
山ノ手門
清水曲輪
花畑
屋形曲輪
稲荷曲輪
天守台
本丸
柳門
二の丸
天守曲輪
調査地点
(県庁構内)
鍛冶曲輪
楽屋曲輪
調査地点
(春日別館跡地)
← 図幅外
調査地点
(東別館跡地)
追手門
調査地点
(県民会館跡地)

第３図　甲府城全体図



灰色部は本報告書以前の
発掘・確認・立会調査の範囲

第４図　県庁構内概要図（整備前）



本図には発掘調査地点のみを示した。
確認調査・立会調査地点は後掲の図で示す。

第５図　県庁構内概要図（整備後）

30 日までの間で実施された。

県庁構内前庭地点の事業では、遺構の有無および遺構確認面までの深さ、遺構の広がりなどを調べるために予め確認調査を平成 27 年 4 月 27・28・30 日、5 月 1・8・20 日、6 月 8 日に実施した。その結果、平成 27 年 6 月 15 日から 7 月 30 日まで発掘調査が行われた。

本館―別館間渡り廊下建設事業では、基礎撤去に伴い平成 26 年 2 月 5 日から 2 月 8 日まで立会調査を実施し、その後、平成 26 年 5 月 26 日から 6 月 30 日まで発掘調査が行われた。

防災新館北側での事業については、5 箇所の地点で掘削があり平成 25 年 4 月 22 日から 4 月 27 日まで発掘調査が行われた。また、防災新館東側での掘削については、平成 25 年 5 月 21 日から 6 月 5 日まで立会調査で対応し写真等による記録を行った。

他各事業は、掘削の幅などが狭いため立会調査で実施し、写真等による記録を行った。

各事業で検出された遺構については、保護層を設けたり、土嚢で保護したり、計画変更を行ったりしながら保護・保存に努めた。

これまで県庁構内での事業は、立会調査や発掘調査などが行われてきた。平成 13 年度（2001 年）から平成 17 年度（2005 年）の間に数々の調査が実施され、『甲府城跡周辺確認調査報告書』（山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第 232 集　2006 年 3 月）に報告されている。

平成 22 年 9 月、防災新館建設に伴い県庁第一南別館および県庁第二南別館の解体工事などにより発掘調査が実施され、『甲府城跡－楽屋曲輪地点－』（山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第 284 集　2012 年 3 月）が刊行された。

平成 24 年 11 月 1 日から同年 12 月 26 日まで県庁第一車庫の解体に伴う駐輪場建設に先立って試掘確認調査及び発掘調査が実施され、『甲府城跡－楽屋曲輪地点－』（山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第 295 集　2014 年 3 月）が刊行された。

第 4 節　整理作業の経過

平成 25 年 9 月 2 日～ 11 月 28 日の間で委員会室棟第 1 次調査の整理作業を、平成 26 年 2 月 26 日～ 3 月 20 日まで委員会室棟第 2 次調査の整理作業を、平成 27 年 1 月 6 日～ 3 月 24 日までは委員会室棟 3 次調査の整理作業を行った。平成 27 年 1 月 14 日～ 2 月 27 日まで本館―別館渡り廊下の整理作業を、平成 27 年 5 月 18 日～平成 28 年 3 月 31 日までと平成 28 年 6 月 6 日～平成 29 年 2 月までその他の県庁舎耐震化等整備事業の整理作業をそれぞれ実施し、報告書の作成を行った。

発掘調査にかかる手続き等

平成 24 年度から平成 27 年度まで、埋蔵文化財発掘調査の報告を文化財保護法第 99 条第 1 項に基づき山梨県教育委員会教育長へ提出を行った。各調査において、文化財の発見については文化財保護法第 100 条第 2 項により山梨県教育委員会から甲府警察署へ通知を依頼した。また、各事業の終了に伴い山梨県教育委員会へ発掘調査の終了報告を提出した。

・教埋文第 149 号にて H24 年 5 月 29 日に「委員会室棟周辺試掘調査」のため法第 99 条第 1 項を提出
・教埋文第 154 号にて H24 年 6 月 5 日に「委員会室棟周辺試掘調査」の埋蔵文化財の発見について法第 100 条第 2 項を提出
・教埋文第 185 号にて H24 年 6 月 14 日に「春日別館試掘調査」のため法第 99 条第 1 項を提出
・教埋文第 729 号にて H25 年 1 月 21 日に「委員会室棟発掘調査」のため法第 99 条第 1 項を提出
・教埋文第 790 号にて H25 年 2 月 21 日に「委員会室棟発掘調査」の埋蔵文化財の発見について法第 100 条第 2 項を提出
・教埋文第 652 号にて H25 年 1 月 4 日に「防災新館前夜間立会調査」の埋蔵文化財の発見について法第 100

条第 2 項を提出
・教埋文第 54 号にて H25 年 4 月 23 日に「防災新館北側調査」のため法第 99 条第 1 項を提出
・教埋文第 56 号にて H25 年 5 月 2 日に「防災新館北側調査」の埋蔵文化財の発見について法第 100 条第 2 項を提出
・教埋文第 128 号にて H25 年 6 月 4 日に「防災新館給設備管敷設立会調査」の埋蔵文化財の発見について法第 100 条第 2 項を提出
・教埋文第 285 号にて H25 年 7 月 22 日に「県庁構内駐輪場調査」のため法第 99 条第 1 項を提出
・教埋文第 286 号にて H25 年 7 月 29 日に「県庁構内駐輪場調査」の埋蔵文化財の発見について法第 100 条第 2 項を提出
・教埋文第 654 号にて H26 年 1 月 27 日に「県庁構内ボイラー室立会調査」の埋蔵文化財の発見について法第 100 条第 2 項を提出
・教埋文第 670 号にて H26 年 2 月 3 日に「県庁構内鉄塔西側擁壁立会調査」の埋蔵文化財の発見について法第 100 条第 2 項を提出
・教埋文第 714 号にて H26 年 3 月 5 日に「県庁構内別館北西地点立会調査」の埋蔵文化財の発見について法第 100 条第 2 項を提出
・教埋文第 750 号にて H26 年 3 月 11 日に「県庁立会管路敷設立会調査」の埋蔵文化財の発見について法第 100 条第 2 項を提出
・教埋文第 729 号にて H26 年 3 月 11 日に「県庁構内委員会室棟 2 次調査」のため法第 99 条第 1 項を提出
・教埋文第 815 号にて H26 年 3 月 25 日に同上の埋蔵文化財の発見について法第 100 条第 2 項を提出
・教埋文第 190 号にて H26 年 5 月 26 日に「県庁舎耐震化等整備事業の内、本館－別館間渡り廊下建設に伴う発掘調査」のため法第 99 条第 1 項を提出
・教埋文第 190 号 -1 にて H26 年 7 月 3 日に同上の埋蔵文化財の発見について法第 100 条第 2 項を提出
・教埋文第 15 号にて H26 年 4 月 7 日に「県庁舎耐震化等整備事業の内、委員会室棟試掘調査」のため法第 99 条第 1 項を提出
・教埋文第 15 号 -1 にて H26 年 4 月 10 日に同上の埋蔵文化財の発見について法第 100 条第 2 項を提出
・教埋文第 16 号にて H26 年 4 月 14 日に「県庁舎耐震化等整備事業の内、委員会室棟第 3 次発掘調査」のため法第 99 条第 1 項を提出
・教埋文第 16 号 -1 にて H26 年 7 月 3 日に同上の埋蔵文化財の発見について法第 100 条第 2 項を提出
・教埋文第 20 号にて H27 年 4 月 7 日に同上の埋蔵文化財の発見について法第 100 条第 2 項を提出
・教埋文第 51 号にて H27 年 4 月 16 日に「県庁舎耐震化等整備事業の内、東門周辺発掘調査」のため法第 99 条第 1 項を提出
・教埋文第 246 号にて H27 年 6 月 15 日に「県庁舎耐震化等整備事業の内、県庁構内前庭地点発掘調査」のため法第 99 条第 1 項を提出
・教埋文第 406 号にて H27 年 8 月 7 日に「県庁舎耐震化等整備事業の発掘調査・確認調査・立会調査」の埋蔵文化財の発見について法第 100 条第 2 項を提出
・教埋文第 518 号にて H27 年 9 月 10 日に県庁構内東門周辺地点第 2 次調査のため法第 99 条第 1 項を提出
・教埋文第 684 号にて H27 年 11 月 4 日に県庁構内西門周辺地点の発掘調査のため法第 99 条第 1 項を提出

調 査 組 織

平成 24 年度

調査主体　山梨県教育委員会

調査機関　山梨県埋蔵文化財センター

所　長　八巻與志夫

次　長　福島一雄
調査研究課長　米田明訓
調査担当者
調査研究課　調査第一担当　リーダー今福利恵、主査文化財主事　宮里　学、文化財主事　御山亮済
調査研究課　調査第三担当　リーダー野代幸和、文化財主事　柴田亮平、非常勤嘱託　長田隆志
資料普及課　資料第一担当　リーダー保坂和博、副主幹文化財主事　土橋寛仁、非常勤嘱託　塩谷風季

平成 25 年度
調査主体　山梨県教育委員会
調査機関　山梨県埋蔵文化財センター
所　長　八巻與志夫
次　長　福島一雄
調査研究課長　保坂康夫
調査担当者
調査研究課　調査第一担当　リーダー今福利恵、主査文化財主事　宮里　学、非常勤嘱託　塩谷風季
調査研究課　調査第二担当　主任文化財主事　正木季洋、文化財主事　柴田亮平
調査研究課　調査第三担当　文化財主事　御山亮済、非常勤嘱託　長田隆志
資料普及課　資料第一担当　副主査文化財主事　網倉邦生

平成 26 年度
調査主体　山梨県教育委員会
調査機関　山梨県埋蔵文化財センター
所　長　八巻與志夫
次　長　出月洋文
調査研究課長　保坂康夫
調査担当者
調査研究課　調査第一担当　副主査文化財主事　網倉邦生、文化財主事　柴田亮平、
非常勤嘱託　塩谷風季
調査研究課　調査第二担当　文化財主事　御山亮済
史跡資料活用課　史跡資料活用第一担当　リーダー宮里　学、主任文化財主事　正木季洋、
文化財主事　久保田健太郎

平成 27 年度
調査主体　山梨県教育委員会
調査機関　山梨県埋蔵文化財センター
所　長　出月洋文
次　長　保坂康夫
史跡資料活用課長　今福利恵
調査担当者
調査研究課　調査第一担当　主幹文化財主事　浅川一郎、主任文化財主事　正木季洋
調査研究課　調査第二担当　主幹文化財主事　篠原真史、文化財主事　御山亮済、非常勤嘱託　上野桜
史跡資料活用課　史跡資料活用第一担当　リーダー宮里　学、文化財主事　久保田健太郎

第２章　遺跡の位置と環境

第１節　地理的環境

山梨県は、日本列島のほぼ中央に位置しており、周囲は静岡県、長野県、埼玉県、東京都、神奈川県に囲まれている。甲府盆地は、山梨県のほぼ中央にあって逆三角形を呈し、標高は概ね 250m に位置している。甲府盆地は、南東に霊峰富士 (3776m) が聳え立ち、北西には八ヶ岳連峰の最高峰である赤岳 (2899m) が、西には日本第二位の標高 (3193m) を誇る北岳を望むことができる。この甲府盆地の中心部に県庁所在地の甲府がある。

山梨県庁は、中央線の甲府駅の南にあり、甲府城跡の城内の楽屋曲輪と屋形曲輪の一部、そして清水曲輪の一部に建設されている。甲府城跡は、甲府盆地の北部から南流する相川によって形成された扇状地の扇端部付近に位置し、一条小山と呼ばれる独立丘を利用してつくられた城跡である。

甲府城が築かれた一条小山は、北東方向にある愛宕山から続く太良ヶ峠火山噴出物による溶岩、火山砕屑からなり、安山岩とこれをとりまく凝灰岩を主とした岩脈からなっている。この一条小山の周りには相川扇状地による堆積物がとりまく。甲府城跡 (第２・３図) は、本丸、二の丸、稲荷曲輪、鍛冶曲輪といった一の堀の北堀、東堀、南堀に囲まれた半円形の部分が一条小山を利用して聳え立つ主郭部分となり、堀はその山裾を巡っている。そしてその西側は、北から清水曲輪、屋形曲輪、楽屋曲輪と呼ばれる方形に区切られた平坦で広大な区画となっており、扇状地上につくられている。

甲府城の主郭部の岩脈は、北東に位置している愛宕山から続いている（第１～３図）が、その間は相川扇状地の東縁を南流してくる藤川によって深い谷地形となって分断されている。甲府城北東部で藤川は山地形に沿うように大きく東に流れを変えている。藤川は現状では甲府城の一の堀、二の堀、三の堀に接するあたりで堀よりも深い位置にあるため堀への取水はきわめて困難である。

また、甲府城南東部に広がる三の堀に囲まれた町屋では現地表下約 1m で湧水が見られ、この藤川下流域にあたることからこの河川による伏流水の影響を考慮する必要がある。甲府城南側をとりまく二の堀、三の堀は、現状では南流した後に、北西方向からくる荒川扇状地の影響を受けて東側へ流れを変える。三の堀東側から城外に出て東流する濁川となって藤川を合流し、その後は西流してくる大坪川とぶつかり、東西方向からせまる扇状地扇端部の間を南流し甲府盆地を縦断していく。

山梨県は、二大河川である笛吹川と釜無川により古くから水害に悩まされていた県である。北東から南西に流れる笛吹川の流路は、多くの水害により変更を余儀なくされ河川改修などを経て現在に至っている。釜無川も同様にその流路は北西から南東へ盆地の中央部に流れていたものが、徐々に西側へ流れを変えて現在の流路ができた。特に釜無川は、盆地の西にある巨摩山地から多量の土砂を流す御勅使川により堤防が決壊することが多かった。現在では連続堤防であり、それ以前は不連続堤防の雁行堤であった。堤防のない時代では、川より少し高い微高地上に集落が形成されていた。大雨の時期ともなれば、川から溢れ出た水は盆地の中心部へと流れ被害が甚大であったことが想像されるが、甲府市の遺跡分布図（第６～ 17 図）などを眺めてみると、被害を受けるような場所には集落は形成されていないことを示している。

第２節　歴史的環境

甲府市は、平成 18 年 (2006 年) に中道町と上九一色村の一部との合併により、旧石器時代である旧中道町に所在する「立石遺跡」が甲府市の遺跡として登録されたが、県庁を中心とした周辺での遺跡は、「八幡神社遺跡」(註 1) がある。この「八幡神社遺跡」(註 2) では、ナイフ形石器などの旧石器時代 (今から約２万５千年前) の遺物が出土している。

さらに古くは、昭和 59 年に、甲府の北部にある緑ヶ丘運動公園東側に流れる相川の河床からナウマンゾウの化石が発見され、この化石は臼歯であることが判明した。化石の年代は、出土した地層の分析から八万年以前と

推定されている（註３）。

各時代の遺跡を概観するにあたり、『甲府市史　史料編　第一巻　原始・古代・中世』（平成元年三月発行）（註1）を参考とした。

縄文時代の遺跡（第６・７図）

この時代の遺跡数は 35 遺跡で、『甲府市史　史料編　第一巻』（p45,46 図 1,2）を概観すると、県庁を中心とした半径 2500m 前後に多くの遺跡が分布している。

第６図は、黒平町上黒平所在の「宮前遺跡」や下黒平の「判平遺跡」などがあり、土器片が採集されているものの、県庁の周辺としてみると中心からかなり北に外れた県境に近い地点に存在している。盆地の低地部の遺跡としては、県庁から北西方向に「緑ヶ丘二丁目遺跡」があり、湯村山東麓の一帯は水害の影響を受けない比較的傾斜の緩やかな標高約 295m の平坦地のほぼ中央部に位置し (註 1)、縄文時代中期を中心とし、弥生時代から平安時代にかけての集落跡と推定されている。

また、「北原遺跡」(註 1、4) は、県庁から北東の南に緩やかに傾斜する高倉川扇状地の扇央部中央に位置し、標高約 270m である。縄文時代中期の住居３軒、古墳時代後期の古墳１基などが調査された。

県庁から南西方向の相川下流の左岸で荒川との合流地点に近い沖積平野に位置し、縄文時代前期後半の「宝二丁目遺跡」(註 1) があり、標高は約 267m である。

県庁から南西方向の荒川右岸には「上石田遺跡」(註 1、4) があり、標高は約 263m の沖積平地上に位置している。そして縄文時代中期の住居跡２軒が発見されている。

北に位置する「緑ヶ丘二丁目遺跡」(標高約 295m) から南に位置する「上石田遺跡」(標高約 263m) までの標高差は 32m、距離にして約 2700m で緩やかに南へ傾斜する地形である。

弥生時代の遺跡（第８図）

弥生時代の遺跡数は 18 遺跡 (註 1) と少なく、荒川に沿った左岸で北西から南東方向へ遺跡の広がりが見られる。県庁の北西部に位置する千塚地区や湯村地区に分布する遺跡は、荒川が形成した自然堤防上や山裾に近い場所である。

「榎田遺跡」(註 5) は、荒川の流路に沿って形成された数条の帯状の微高地上に立地しており、標高は 305m 付近である。弥生時代後期から平安時代に及ぶ遺跡で、弥生時代後期１軒、古墳時代前期１軒、同後期 12 軒、奈良時代８軒、平安時代５軒、時期不明が１軒の合計 28 軒が調査され、古墳時代前期の方形周溝墓４基なども確認されている。

「八幡前遺跡」(註 1) は県庁の北西部に位置し、標高は約 285m で、出土遺物から弥生時代後期から古墳時代初頭の遺跡である。この地域から南東方向へ目を向けると空白地帯があり、その先には「富士見一丁目遺跡」や「塩部遺跡」、「飯田一丁目遺跡」がある。

「富士見一丁目遺跡」(註 6) は、県庁の北西部約 1500m の地点で、標高 275m にある。弥生時代末から古墳時代初頭の小区画・極小区画水田が調査された。

「塩部遺跡」(註 7) は、県庁の北西方向約 1100m の地点で、標高は 267m である。縄文時代から近現代までの遺跡であるが、縄文時代については遺物のみである。弥生時代の遺構は溝と住居跡１軒である。古墳時代の遺構は前期の方形周溝墓 10 基である。奈良・平安時代では、水田跡、住居跡８軒で、近現代では第二次世界大戦で使われた焼夷弾 38 点が見つかっている。

「飯田一丁目遺跡」(註 1) は県庁の北西部約 500m の地点である。相川扇状地の扇端部に立地し、緩やかな地形のほぼ平坦地の標高約 273m にある。出土遺物は、弥生時代後期から古墳時代初頭である。

「朝気遺跡」(註 1、4) は、県庁から南東方向に位置し、市の中央部を東流する濁川右岸の標高約 258m の微高地上に立地している。弥生時代末から平安時代末にかけての遺跡である。住居跡は、弥生時代末１軒、古墳時代後期６軒、奈良時代１軒、平安時代前期が１軒、平安時代末４軒である。その他には溝や土坑が確認されて

おり、平安時代後期の水田跡も調査されている。

古墳時代の遺跡（第 9・10 図）

古墳時代になると、県庁の北東側と北西側の山際付近に多くの古墳が造営され、86 の古墳が確認されている (註 1)。また、県庁から南の笛吹川までの間に若干ではあるが古墳が造られていた様であるが、現在ではその姿をとどめていない。甲府の中心部は古墳の空白地帯である。

古墳時代の集落遺跡については、古墳の周辺部に認められるとともに、古墳の空白部であった中心部付近に集落遺跡が認められる。古墳時代の遺跡の分布を見ると、大まかに荒川の左岸に広がりを見せている。

奈良・平安時代の遺跡（第 11 ～ 13 図）

奈良・平安時代になると、荒川の右岸や今まで遺跡の数の少なかった南方にも遺跡が拡大し、98 遺跡が確認されている (註 1)。

中世・近世の遺跡と現代（第 14 ～ 17 図）

この時代になるとその分布は、前代を継承しながら発展していくが、県庁の北西から南西にかけて遺跡は希薄となる。市域に城館が本格的に築かれるのは、永正 16 年 (1519) に武田信虎が相川扇状地に府中を創設してからで、居館の躑躅ヶ崎館を中心に詰城の要害城、支城の湯村山城・川窪城を築いて一帯の要塞化を図っていった。天正 19 年 (1591)、豊臣秀吉は加藤光泰を甲府城主に任命し、その後、文禄 2 年 (1593)、秀吉は浅野長政と幸長親子を甲斐に配置し、慶長 5 年 (1600) まで甲斐を治めた。関ヶ原の戦いの後、徳川家康は甲斐を直轄地とし、城代に平岩親吉を置き、廃城となる明治 6 年まで甲府城は存続した。

その後、明治 9 年 (1876) には城内を勧業試験場とし、翌年に葡萄酒醸造所を鍛冶曲輪に設置した。明治 33 年 (1900) 楽屋曲輪に甲府中学校を建設し、そして明治 36 年 (1903) には中央線が清水曲輪内を通過し甲府まで開通した (註 8)。

昭和 43 年 (1968) 甲府城跡は、県指定史跡として告示された。平成 2 年 (1990) からは舞鶴城公園整備事業が着手され、これに伴い発掘調査が開始されることとなり、平成 16 年稲荷櫓の復元の完成をもってこの事業は終了した (註 9)。さらに、2019 年には武田信虎が躑躅ヶ崎に館を構えてから丁度 500 年を迎えることとなる。

引用・参考文献

註 1　甲府市役所　平成元年『甲府市史　史料編　第一巻　原始・古代・中世』編集　甲府市市史編さん委員会

註 2　山梨県教育委員会　2010 年　『八幡神社遺跡』　山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第 265 集
この遺跡では、旧石器時代、縄文時代、古墳時代、平安時代の遺物が見つかっている。県庁から北東約 600m で、南に緩やかに傾斜する標高約 297m に立地する。

註 3　甲府市役所　平成 5 年『甲府市史　別編Ⅲ　甲府の歴史』編集　甲府市市史編さん委員会

註 4　山梨県　平成 10 年　『山梨県史　資料編 1　原始・古代』

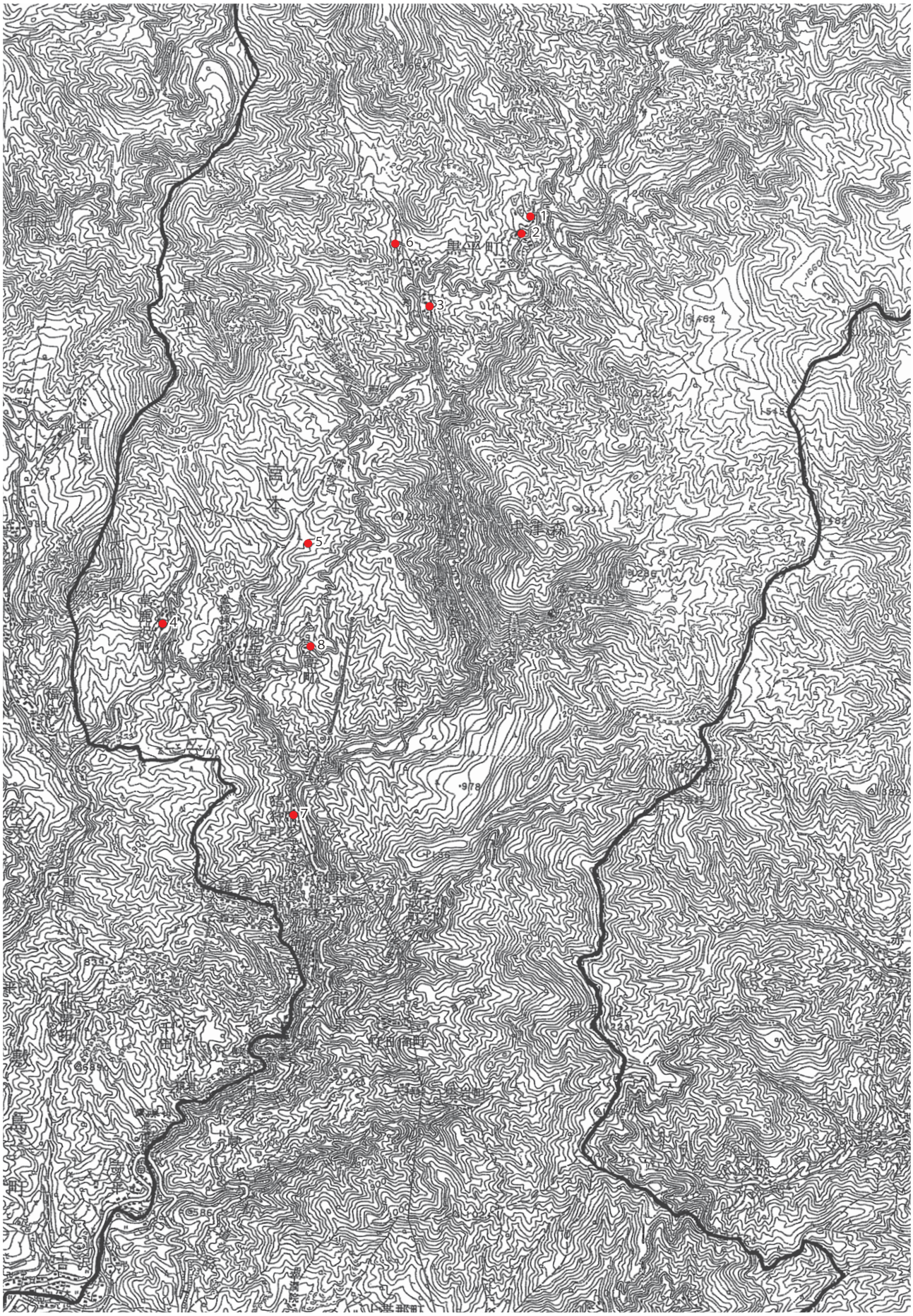
註 5　山梨県教育委員会　1995 年　『榎田遺跡』　山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第 105 集

註 6　山梨県教育委員会　2000 年　『富士見一丁目遺跡』　山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第 167 集

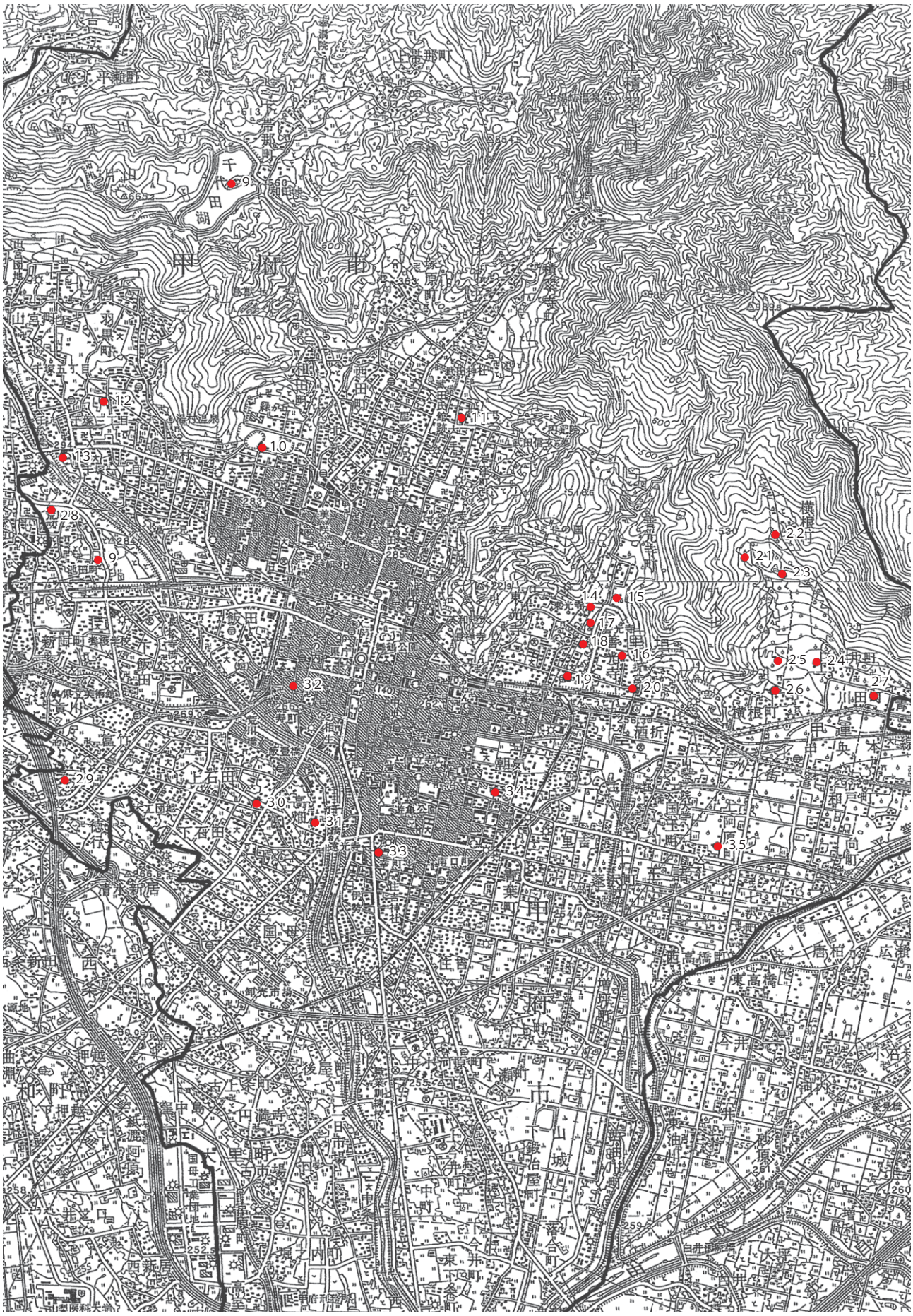
註 7　山梨県教育委員会　1996 年　『塩部遺跡』　山梨県埋蔵文化財センター発掘調査報告書　第 123 集

註 8　山梨県教育委員会　2012 年『よみがえる甲斐府中城』

註 9　山梨県　2005 年　『県指定史跡　甲府城跡 (上巻)』舞鶴城公園整備事業に伴う総合調査・整備報告書　山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第 222 集

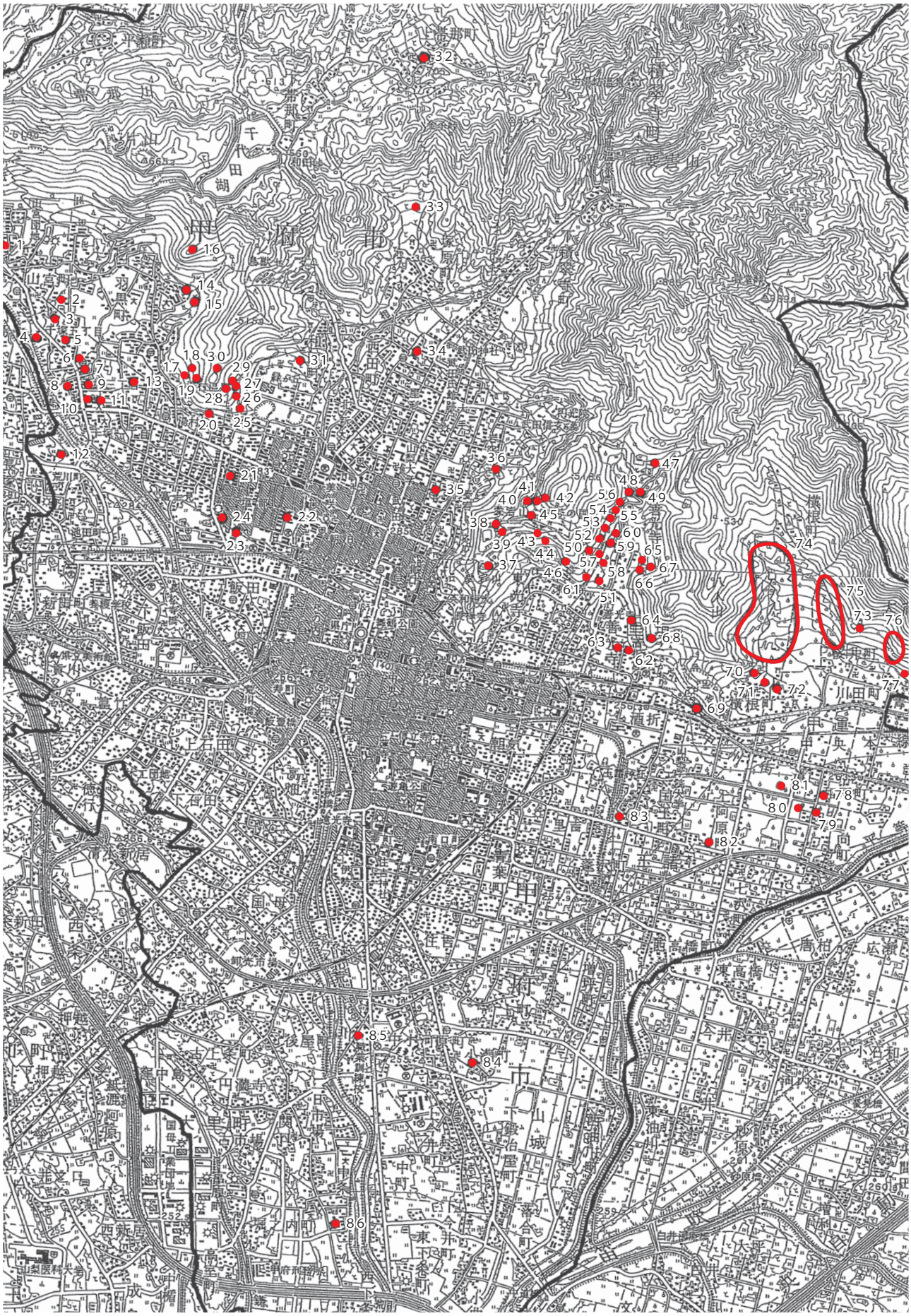


第６図　遺跡分布図（縄文時代）



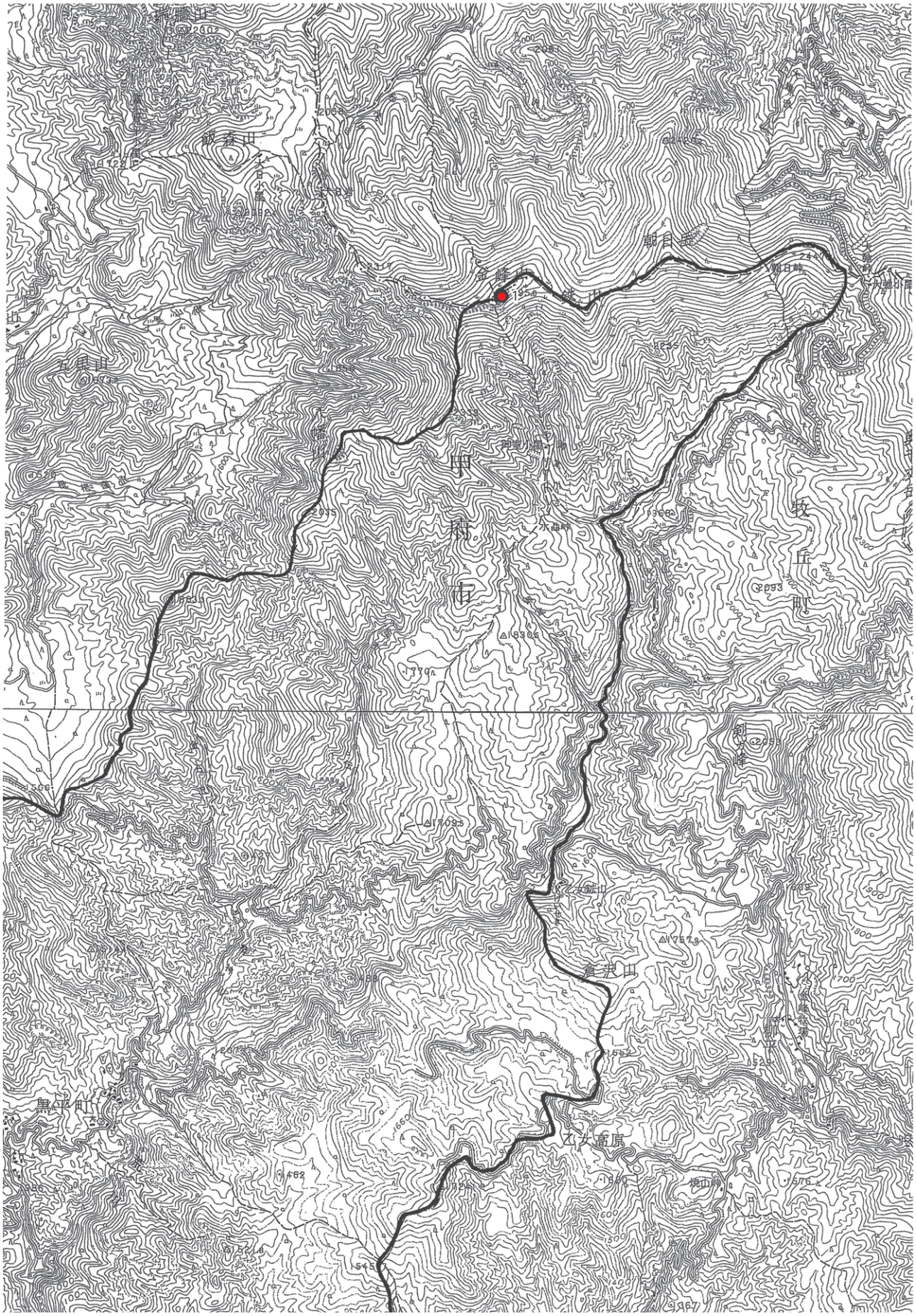
第７図　遺跡分布図（縄文時代）

第８図　遺跡分布図（弥生時代）

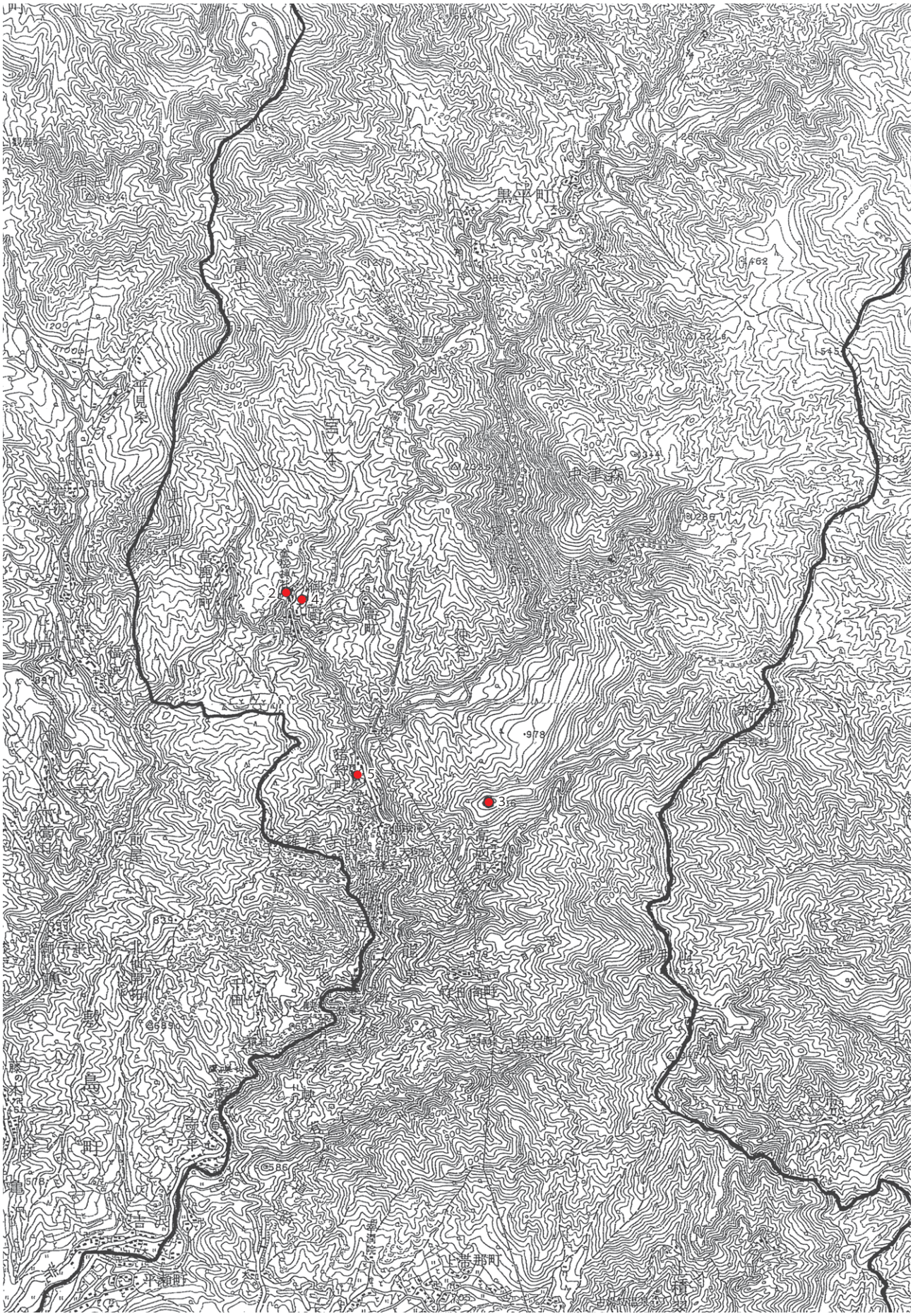


第９図　遺跡分布図（古墳時代：古墳）

第 10 図　遺跡分布図（古墳時代：集落など）

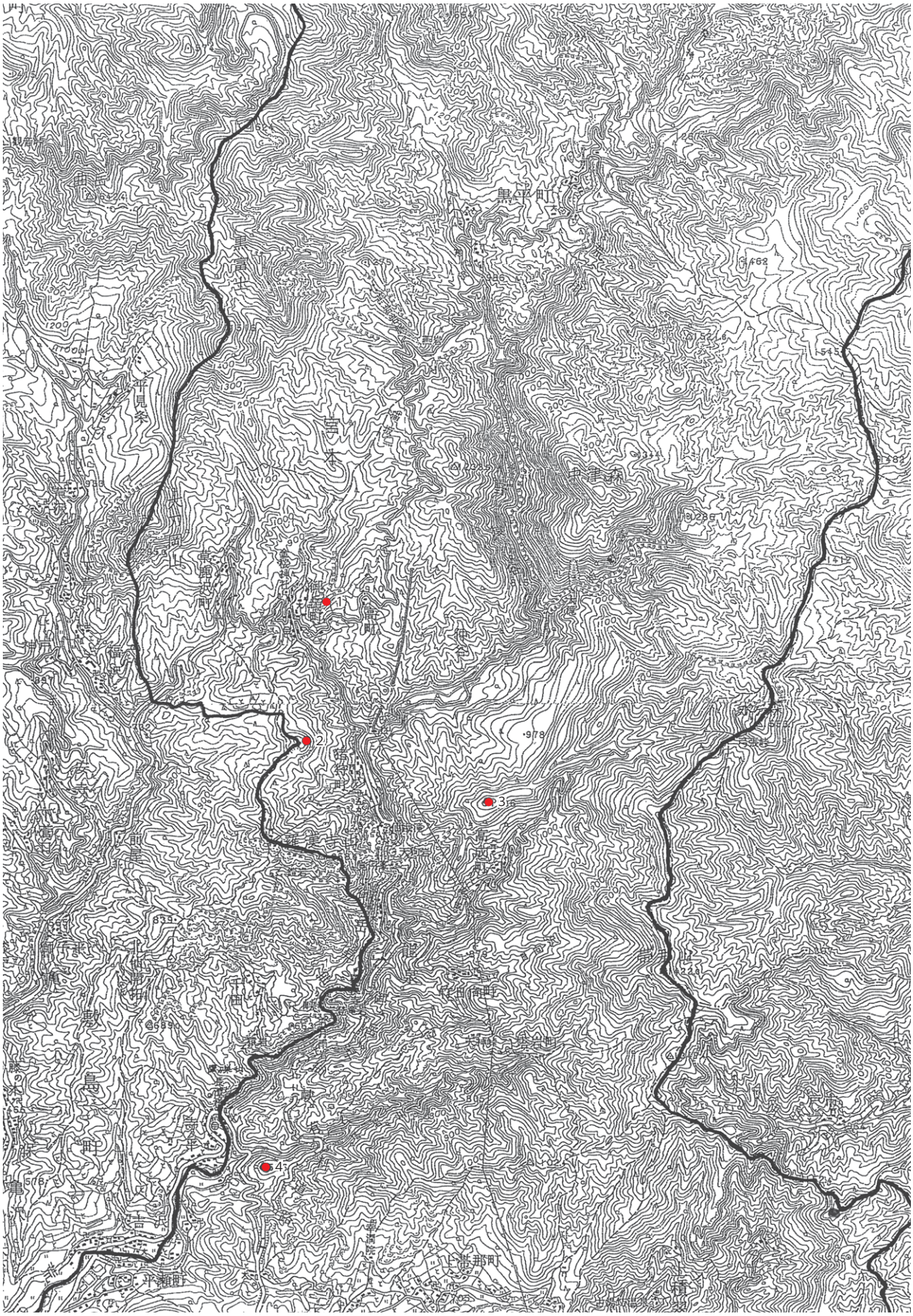


第 11 図　遺跡分布図（奈良・平安時代）

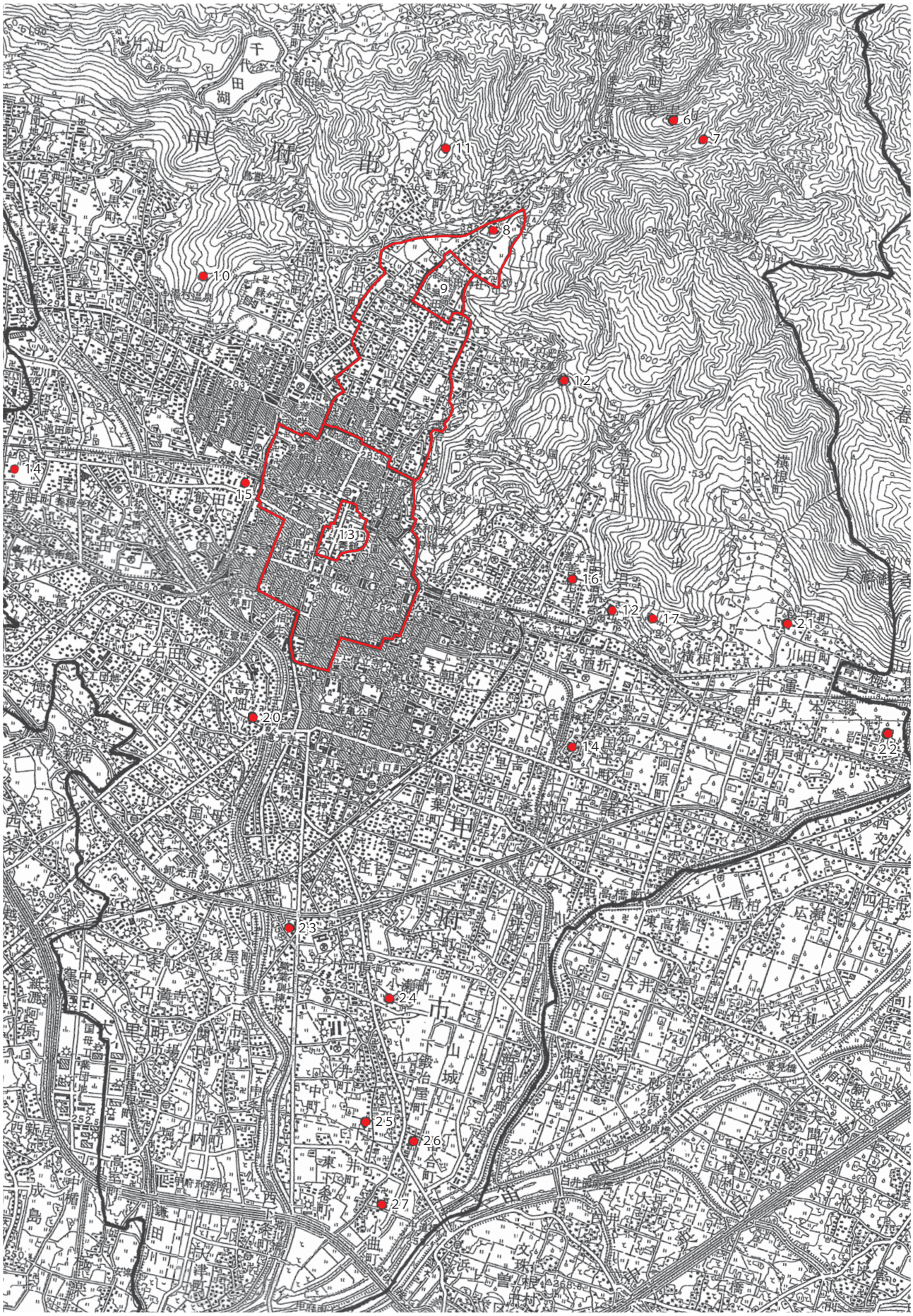


第 12 図　遺跡分布図（奈良・平安時代）

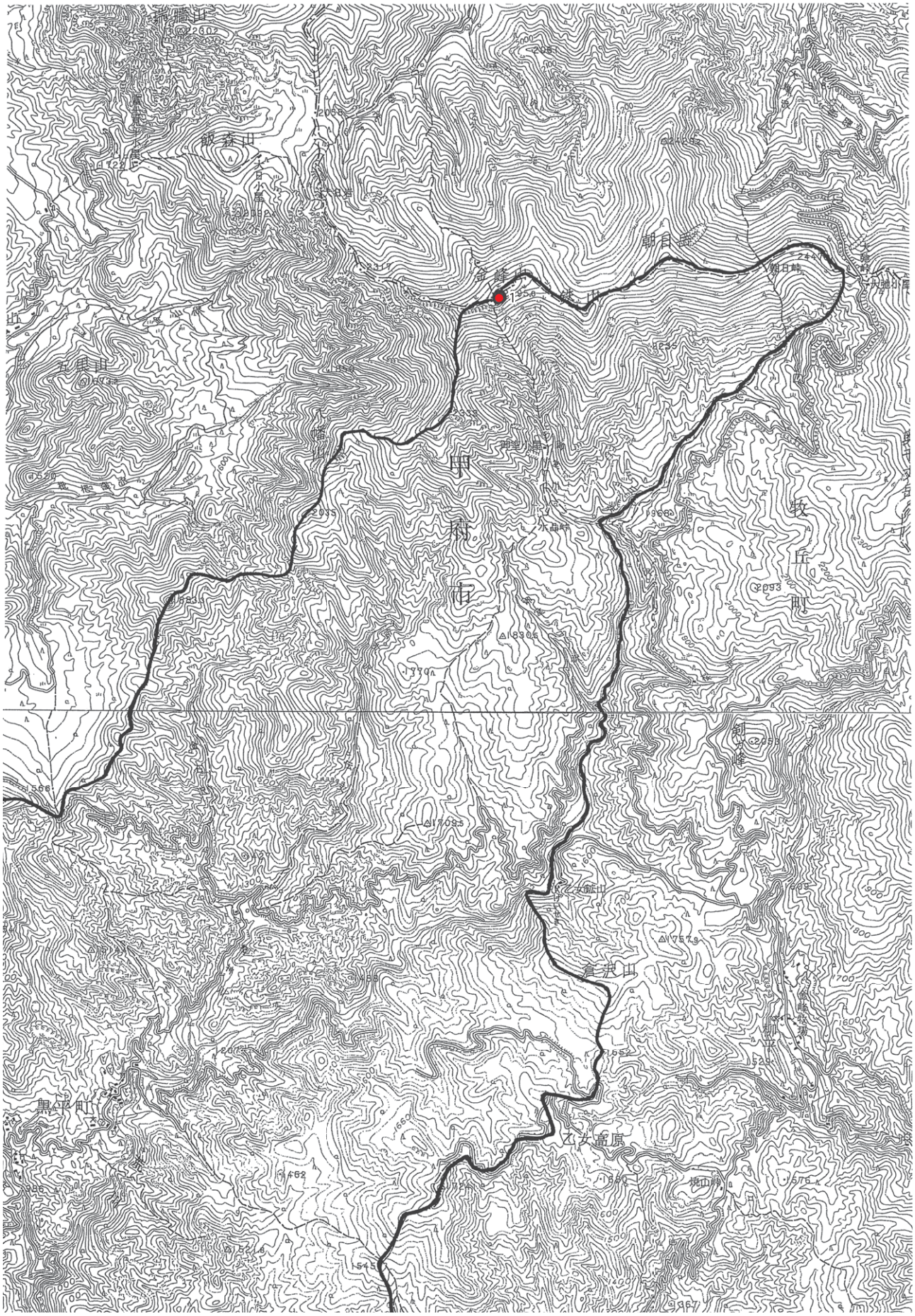
第 13 図　遺跡分布図（奈良・平安時代）



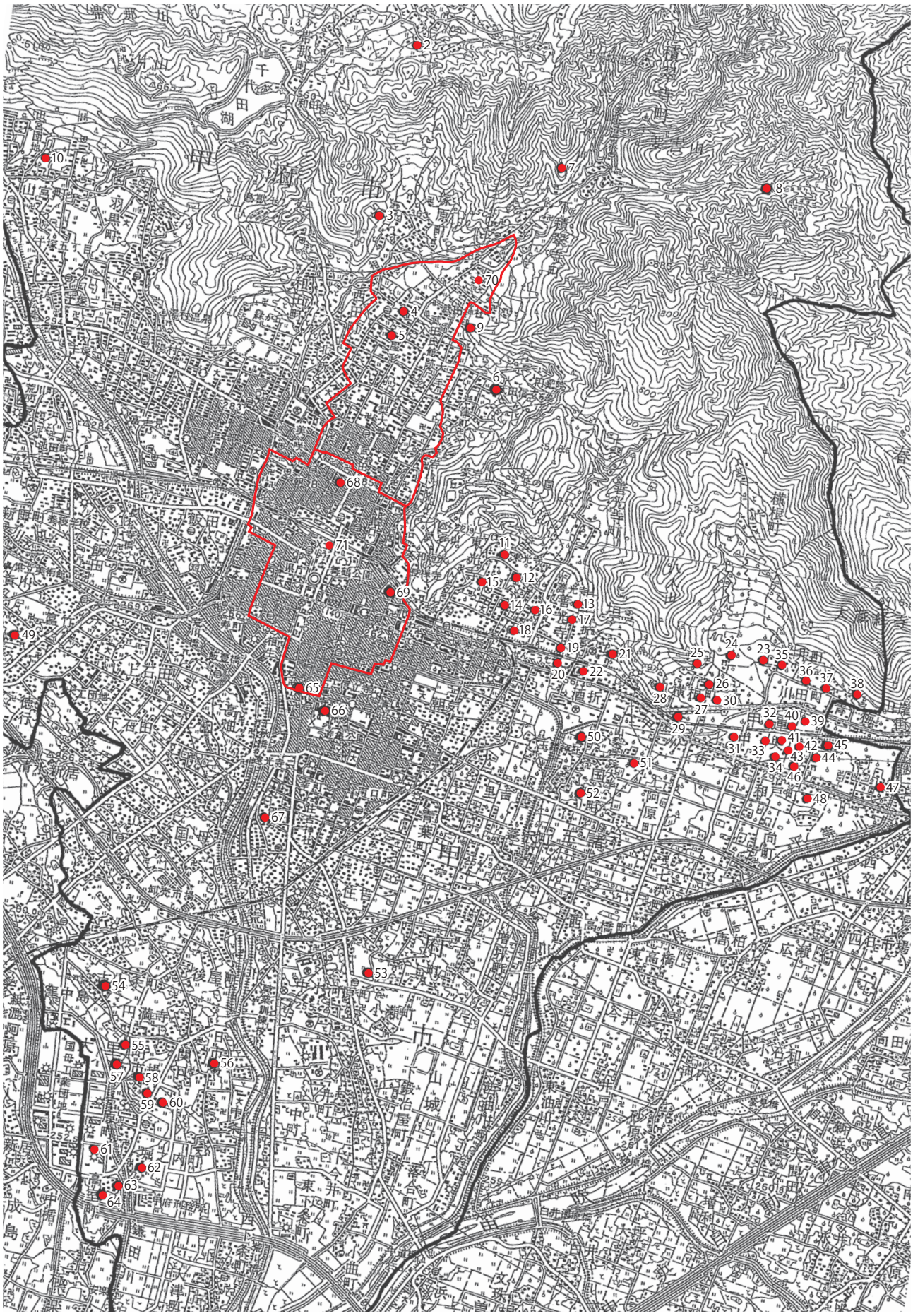
第 14 図　遺跡分布図（中・近世：城館跡）



第 15 図　遺跡分布図（中・近世：城館跡）



第 16 図　遺跡分布図（中・近世：城館跡を除く）



第 17 図　遺跡分布図（中・近世：城館跡を除く）

縄文時代の遺跡

番号	遺　跡　名	所　在　地	備　　考
第6図			
1	宮前遺跡	黒平町上黒平	早期
2	道上遺跡	黒平町上黒平	
3	判平遺跡	黒平町下黒平	早期・前期・中期
4	草鹿沢町遺跡	草鹿沢町	中期
5	猫坂遺跡	御岳町	中期・後期
6	湯平遺跡(宮本鉱泉遺跡)	御岳町	中期
7	中棚遺跡	猪狩町中棚	中期
8	高町遺跡	高町50・他	中期・後期
第7図			
9	丸山遺跡	下帯那町835・他	中期
10	緑ヶ丘二丁目遺跡	緑ヶ丘2丁目・和田町南部	前期・中期・後期
11	大手下遺跡	大手3丁目2・他	
12	金塚西遺跡	千塚5丁目4・他	中期
13	大坂A遺跡	千塚2丁目2	中期
14	北原遺跡	東光寺3丁目12・他	前期・中期
15	善光寺北遺跡	善光寺3丁目36・他	中期
16	本郷遺跡	善光寺3丁目27・他	早期・前期
17	宮ノ脇A遺跡	善光寺2丁目15・他	
18	宮ノ脇B遺跡	善光寺2丁目14・他	
19	宮ノ前遺跡	善光寺2丁目5	
20	宮前遺跡	酒折3丁目3・他	中期？
21	鐘撞堂遺跡	横根町三ッ石	
22	三ッ石遺跡	横根町三ッ石	
23	平林灌水遺跡	横根町1180・他	中期
24	中屋敷遺跡	桜井町790・他	中期
25	八木沢遺跡	横根町831・他	前期・中期
26	村内遺跡	横根町825～832・他	早期？
27	地蔵堂遺跡	桜井町45・他	中期
28	西河原遺跡	荒川2丁目5	
29	村西遺跡	徳行5丁目5・他	
30	上石田遺跡	上石田3丁目5・他	前期・中期
31	宮北遺跡	高畑1丁目	中期
32	宝二丁目遺跡	宝2丁目17・他	前期
33	食糧工場遺跡	幸町6-30・他	中期
34	朝気遺跡	朝気1丁目・他	
35	塚越遺跡	上阿原758	後期

弥生時代の遺跡

番号	遺　跡　名	所　在　地	備　　考
第8図			
1	向田A遺跡	西田町1・他	
2	緑が丘二丁目遺跡	緑が丘2丁目、和田町南端	後期
3	榎田遺跡	千塚5丁目・他	後期
4	神田遺跡	千塚3丁目2・他	後期
5	音羽町遺跡	音羽町一帯	後期
6	八幡東遺跡	湯村3丁目1・他	後期
7	八幡前遺跡	千塚1丁目7・他	後期
8	塩部遺跡	塩部2丁目一帯	
9	上土器遺跡	桜井町255・他	後期
10	梅木遺跡	国玉町853・他	
11	牛取遺跡	向町42・他	後期
12	宮田遺跡	住吉5丁目25	
13	飯田一丁目遺跡	飯田1丁目2・他	後期
14	朝気遺跡	朝気1丁目・他	後期
15	伊勢町遺跡	幸町・太田町境付近	後期
16	食糧工場遺跡	幸町6-30・他	後期
17	幸町遺跡	幸町13・他	中期
18	丸山遺跡	下帯那町835・他	後期

古墳時代の遺跡（古墳）

番号	遺　跡　名	所　在　地	備　　考
第9図			
1	米草古墳	山宮町286-5	消滅
2	夫婦塚古墳	山宮町	消滅
3	天神塚古墳	千塚5丁目11	消滅
4	無名一号墳	千塚4丁目12	消滅
5	子泣塚古墳	千塚5丁目10	消滅
6	無名二号墳	千塚5丁目2	消滅
7	猪塚古墳	千塚3丁目9	消滅

番号	遺　跡　名	所　在　地	備　　考
8	蛇塚古墳	千塚3丁目1	消滅
9	凧塚古墳	千塚3丁目1	消滅
10	証文塚古墳	千塚3丁目1	消滅
11	薬師塚古墳	千塚4丁目5	消滅
12	穴塚古墳	荒川2丁目13	市指定史跡
13	加無那塚古墳	千塚3丁目7	県指定史跡
14	大塚古墳	羽黒町1255	消滅
15	無名墳	羽黒町1255	消滅
16	羽黒山古墳	羽黒山山頂	積石塚
17	碁石塚古墳	湯村3丁目17	消滅
18	大平一号墳	湯村3丁目17	
19	大平二号墳	湯村3丁目17	石室露出
20	万寿森古墳	湯村3丁目8	石室露出
21	早乙女塚古墳	塩部4丁目4	消滅
22	夫婦塚古墳	塩部1丁目5	消滅
23	荒神塚古墳	塩部2丁目6	消滅
24	鴨塚古墳	塩部2丁目	消滅
25	湯村山一号墳	湯村山山中	積石塚
26	湯村山二号墳	湯村山山中	石室半壊
27	湯村山三号墳	湯村山山中	墳丘はほぼ完全に残存
28	湯村山四号墳	湯村山山中	墳丘はほぼ完全に残存
29	湯村山五号墳	湯村山山中	
30	湯村山六号墳	湯村山山中	墳丘半壊
31	和田無名墳	和田町	消滅
32	富士塚古墳	上帯那町	消滅
33	疣石古墳	塚原町	石室のみ残存
34	お塚さん古墳	古府中町1429-3	消滅
35	山八幡古墳	宮前町6	消滅
36	うなり塚古墳	古府中町4717	昭和18年発掘　消滅
37	愛宕山山頂古墳	愛宕山山頂	古墳であったかどうか疑問
38	夢見山一号墳	夢見山山頂	石室用材のみ残存
39	夢見山二号墳	夢見山山頂	石室用材のみ残存
40	二ッ塚一号墳	大笠山・夢見山鞍部	
41	二ッ塚二号墳	大笠山・夢見山鞍部	消滅
42	二ッ塚三号墳	大笠山・夢見山鞍部	
43	大笠山一号墳	大笠山山中	半壊
44	大笠山二号墳	大笠山山中	石室半壊
45	大笠山三号墳	大笠山山中	墳丘はほぼ全壊
46	山楽荘古墳	大笠山山中	消滅
47	一つ塚古墳	大笠山山中	通称カブトゴウロ
48	善光塚一号墳	善光寺町北原	
49	善光塚二号墳	善光寺町北原	石室の一部残存
50	北原無名一号墳	東光寺町	消滅
51	北原無名二号墳	東光寺3丁目	消滅
52	北原無名三号墳	東光寺町	消滅
53	北原無名四号墳	東光寺町	消滅
54	北原無名五号墳	東光寺町	消滅
55	北原無名六号墳	東光寺町	消滅
56	北原無名七号墳	東光寺町	消滅
57	北原無名八号墳	東光寺町	消滅
58	北原無名九号墳	東光寺町	消滅
59	稲荷塚一号墳	東光寺町1522	
60	稲荷塚二号墳	東光寺町1522	奥壁のみ残存
61	法印塚古墳	東光寺3丁目10	消滅
62	ポンポコ塚古墳	善光寺3丁目16	
63	おめ塚古墳	善光寺3丁目	消滅
64	無名墳	善光寺町	消滅
65	三ヶ月塚古墳	善光寺町2855	わずかに痕跡を残す
66	地蔵塚古墳	善光寺町2858	
67	鎧塚古墳	善光寺町3307	痕跡なし
68	不老園塚古墳	酒折3丁目4	
69	大六天塚古墳	酒折2丁目2	消滅
70	横根山田古墳	横根町1105	石室半壊
71	横根村内一号墳	横根町1068	墳丘全壊
72	横根村内二号墳	横根町1045	石室用材残存
73	天王社古墳	桜井町	古墳かどうか疑問
74	横根積石塚古墳群(西支群)	横根町	積石塚105基
75	横根積石塚古墳群(東支群)	横根町	積石塚11基
76	桜井積石塚古墳群(西支群)	桜井町	積石塚23基
77	桜井積石塚古墳群(東支群)	桜井町	積石塚3基
78	太神さん塚古墳	和戸町内森183	消滅
79	琵琶塚古墳	和戸町127	消滅

番号	遺　跡　名	所　在　地	備　　考
80	在原塚古墳	和戸町130	消滅
81	富士塚古墳	和戸町487	消滅
82	藤塚古墳	上阿原町758	
83	御前塚古墳	里吉2丁目	昭和初期の道路工事のため消滅
84	富士塚古墳	小瀬町史跡公園内	消滅
85	人形塚古墳	中小河原町	消滅
86	刀剣塚古墳	西下条町藤見	消滅

古墳時代の遺跡（集落など）

番号	遺　跡　名	所　在　地	備　　考
第10図			
1	永井遺跡	小松町407・他	
2	村之内遺跡	和田町2912・他	
3	緑が丘二丁目遺跡	緑が丘2丁目・和田町南部	
4	緑が丘一丁目遺跡	緑が丘1丁目・塩部	
5	岩窪B遺跡	岩窪町150・他	
6	岩窪C遺跡	岩窪町（市営公園墓地内）	
7	三光寺山遺跡	和田町（三光寺山山頂）	祭祀遺跡？
8	御蔵遺跡	山宮町772・他	
9	天神北遺跡	千塚5丁目11	
10	天神西遺跡	千塚4丁目12・他	
11	榎田遺跡	千塚5丁目・他	
12	跡部遺跡	千塚4丁目6・他	
13	金塚西遺跡	千塚5丁目4・他	
14	音羽遺跡	音羽町一帯・他	
15	八幡東遺跡	湯村3丁目1・他	
16	八幡前遺跡	千塚1丁目7・他	
17	北善光B遺跡	善光寺町2858-15	
18	地蔵北遺跡	東光寺3丁目9・他	
19	南善光B遺跡	善光寺3丁目35・他	
20	本郷遺跡	善光寺3丁目27・他	
21	本郷C遺跡	善光寺1丁目5・他	
22	大笠山水の元遺跡	東光寺町（大笠山山腹）	祭祀遺跡？
23	中屋敷遺跡	桜井町790・他	
24	八木沢遺跡	横根町831・他	
25	村内遺跡	横根町825～832・他	
26	船山遺跡	横根町1160・他	
27	大坪遺跡	横根町大橋・大坪	
28	地蔵堂遺跡	桜井町45・他	
29	上土器遺跡	桜井町246・他	
30	梅之木遺跡	桜井町394・他	
31	起田遺跡	川田町59・他	
32	八枚畑A遺跡	和戸町1140・他	
33	亀田遺跡	川田町134・他	
34	北田遺跡	川田町255・他	
35	久保田遺跡	川田町325・他	
36	中坪遺跡	里吉2丁目2・4	
37	天神遺跡	里吉1丁目7・里吉3丁目3	
38	家之前遺跡	里吉3丁目2・5・6	
39	十丁遺跡	里吉3丁目5-8	
40	寺前遺跡	里吉4丁目7・他	
41	梅木遺跡	国玉町853・他	
42	北堀遺跡	里吉町1300・他	
43	野村遺跡	蓬沢1丁目7	
44	渕之上遺跡	蓬沢1丁目21	
45	二又遺跡	住吉4丁目2・3	
46	上ノ木遺跡	住吉5丁目5	
47	天神遺跡	上町1520・他	
48	ヂクヤ遺跡	増坪町463・他	
49	桜林A遺跡	宮原町桜林	
50	富士見遺跡	富士見1丁目	
51	飯田一丁目遺跡	飯田1丁目2・他	
52	太田町遺跡	太田町10-2・他	
53	青沼遺跡	青沼3丁目5・他	
54	湯田町遺跡	湯田1丁目8・他	
55	伊勢町遺跡	幸町・太田町境付近	祭祀遺跡
56	南口遺跡	南口15・他	
57	青葉町遺跡	青葉町12	
58	朝気遺跡	朝気1丁目・他	

奈良・平安時代の遺跡

番号	遺　跡　名	所　在　地	備　　考
第11図			
1	金峰山遺跡群	金峰山山頂、及び山腹	経塚等の祭祀遺跡群
第12図			
2	金桜神社境内遺跡	御岳町	平安時代
3	川窪城山山頂遺跡	川窪町（川窪城山山頂）	平安時代
4	東村遺跡	御岳町	平安時代
5	清水遺跡	猪狩町清水	平安時代
第13図			
6	牛石遺跡	上帯那町128・他	平安時代
7	十二天遺跡	小松町478・他	平安時代
8	永井遺跡	小松町407・他	平安時代
9	村之内遺跡	和田町2912・他	平安時代
10	緑が丘二丁目遺跡	緑が丘2丁目・和田町	平安時代
11	山梨大学遺跡	大手2丁目1	奈良・平安時代
12	鴨塚遺跡	山宮町18・他	平安時代
13	御蔵遺跡	山宮町772・他	平安時代
14	若宮前遺跡	羽黒町34・他	平安時代
15	天神平遺跡	羽黒町1195・他	平安時代
16	天神北遺跡	千塚5丁目11	平安時代
17	榎田遺跡	千塚5丁目・他	平安時代
18	神田遺跡	千塚3丁目2・他	平安時代
19	大坂B遺跡	千塚2丁目4	平安時代
20	塩部遺跡	塩部2丁目一帯・他	奈良時代
21	茶堂遺跡	善光寺町3000・他	平安時代
22	北善光A遺跡	善光寺町3038-3	平安時代
23	堤下B遺跡	東光寺町1424～1426	平安時代
24	堤下A遺跡	東光寺3丁目11	平安時代
25	北原遺跡	東光寺3丁目12・他	平安時代
26	善光寺北遺跡	善光寺3丁目36・他	平安時代
27	地蔵北遺跡	善光寺3丁目9・他	平安時代
28	亥ノ兎遺跡	東光寺3丁目3	平安時代
29	大六天遺跡	東光寺2丁目27	平安時代
30	宮ノ脇A遺跡	善光寺2丁目15・他	平安時代
31	南善光B遺跡	善光寺3丁目35・他	平安時代
32	南善光A遺跡	善光寺3丁目33・他	平安時代
33	殿屋敷遺跡	善光寺3丁目33	平安時代
34	宮ノ脇B遺跡	善光寺2丁目14・他	平安時代
35	一の森経塚遺跡	上積翠寺町1855	経塚
36	銀杏之木遺跡	東光寺2丁目20・他	平安時代
37	六反田遺跡	東光寺2丁目5	平安時代
38	湯村山山頂遺跡	湯村3丁目	平安時代
39	上郷遺跡	善光寺2丁目9・他	平安時代
40	説教遺跡	東光寺1丁目12・他	平安時代
41	本郷B遺跡	善光寺3丁目4・他	平安時代
42	本郷C遺跡	善光寺1丁目5・他	平安時代
43	三ッ石遺跡	横根町三ッ石	平安時代
44	村内遺跡	横根町825～832・他	平安時代
45	船山遺跡	横根町1160・他	奈良時代
46	大坪遺跡	横根町大坪・大橋	奈良・平安時代
47	地蔵堂遺跡	桜井町45・他	奈良時代
48	上土器遺跡	桜井町246・他	瓦窯址
49	起田遺跡	川田町59・他	平安時代
50	八枚畑A遺跡	和戸町1140・他	平安時代
51	亀田遺跡	川田町134・他	平安時代
52	川田瓦窯跡	川田町231・他	瓦窯址
53	北田遺跡	川田町255・他	平安時代
54	久保田遺跡	川田町325・他	平安時代
55	桜井畑遺跡	和戸町1274・他	奈良・平安時代
56	満々下遺跡	和戸町満々下	平安時代
57	平石遺跡	荒川2丁目1	平安時代
58	居村・村上遺跡	池田2丁目11	平安時代
59	前田遺跡	池田2丁目6	平安時代
60	南阿原B遺跡	富竹4丁目3	平安時代
61	南阿原A遺跡	富竹4丁目3	平安時代
62	南阿原C遺跡	富竹4丁目1	平安時代
63	南阿原D遺跡	富竹4丁目7	平安時代
64	村西遺跡	徳行5丁目5・他	平安時代
65	上石田遺跡	上石田3丁目5・他	平安時代
66	上河原遺跡	下石田2丁目4	平安時代
67	渋沢遺跡	下石田2丁目12	平安時代
68	中坪遺跡	里吉2丁目2・4	平安時代

番号	遺　跡　名	所　在　地	備　　考
69	天神遺跡	里吉1丁目7・里吉3丁目7	平安時代
70	家之前遺跡	里吉3丁目2・5・6	平安時代
71	鎌作遺跡	国玉町646・他	平安時代
72	深田遺跡	国玉町609・他	平安時代
73	塚腰遺跡	国玉町904・他	平安時代
74	村之内遺跡	里吉4丁目10	平安時代
75	北堀遺跡	蓬沢町1300・他	平安時代
76	油田遺跡	蓬沢1丁目3	平安時代
77	北桜遺跡	蓬沢1丁目6	平安時代
78	野村遺跡	蓬沢1丁目7	平安時代
79	久保北河原遺跡	高畑1丁目17	平安時代
80	大北河原遺跡	高畑1丁目15	平安時代
81	宮北遺跡	高畑1丁目20	平安時代
82	村前遺跡	高畑1丁目21	平安時代
83	上ノ木遺跡	住吉5丁目5	平安時代
84	宮田遺跡	住吉5丁目25	平安時代
85	明石・西河原遺跡	上町1824・他	平安時代
86	大土井遺跡	上町1730・他	平安時代
87	天神遺跡	上町1520・他	平安時代
88	ヂクヤ遺跡	増坪町463・他	平安時代
89	東耕地遺跡	大里町東耕地	平安時代
90	桜林B遺跡	宮原町249	平安時代
91	砂間遺跡	高室町砂間	平安時代
92	柿ノ久弥遺跡	高室町750・他	平安時代
93	村添遺跡	大津町1436・他	平安時代
94	富士見遺跡	富士見1丁目	平安時代
95	宝二丁目遺跡	宝2丁目17・他	平安時代
96	朝気遺跡	朝気1丁目・他	奈良・平安時代
97	南口遺跡	南口15・他	平安時代
98	青葉町遺跡	青葉町12	平安時代

中世・近世の城館跡

番号	城 館 名	所　在　地	備　　考
第14図			
1	御岳城山	御岳町（天狗山山頂）	烽火台
2	猪狩城山	猪狩町（城山山頂）	烽火台
3	川窪城跡	川窪町（川窪城山山頂）	支城
4	平瀬の烽火台	平瀬町（城山山頂）	烽火台
5	太良峠の烽火台	上積翠寺町（太良峠東方）	烽火台
第15図			
6	要害城跡	上積翠寺町（要害山）	詰城
7	熊城跡（要害城東遺構）	上積翠寺町	支城
8	神宮寺氏屋敷跡	下積翠寺町838	屋敷跡
9	武田氏館跡	古府中町梅翁・他	居館
10	湯村山城跡	湯村三丁目（湯村山山頂）	支城
11	鐘推堂山	塚原町（恵運院裏山山頂）	
12	茶道峠の烽火台	岩窪町（茶道峠付近）	烽火台
13	甲府城跡	丸の内1丁目・他	近世城郭
14	金竹氏屋敷跡	金竹町	屋敷跡
15	横田氏屋敷跡	飯田1丁目	屋敷跡
16	板垣氏屋敷跡	善光寺3丁目21・他	屋敷跡
17	板垣山の烽火台	酒折町	烽火台
18	酒依氏屋敷跡	酒折3丁目	屋敷跡
19	落合氏屋敷跡	国玉町1073	屋敷跡
20	秋山氏屋敷跡	高畑1丁目21	屋敷跡
21	武田逍遥軒屋敷跡	桜井町中屋敷	屋敷跡
22	川田館跡	川田町381・他	居館跡
23	小宮山土佐守屋敷跡	中小河原1丁目	屋敷跡
24	小瀬氏館跡	小瀬町589・他	屋敷跡
25	今井氏屋敷跡	上今井町下の側	屋敷跡
26	落合氏屋敷跡	落合町1278・他	屋敷跡
27	小曲氏屋敷跡	小曲町村東	屋敷跡

中世・近世の城館跡を除いた遺跡

番号	遺　跡　名	所　在　地	備　　考
第16図			
1	金峰山遺跡群	金峰山山頂及び山腹	経塚等の祭祀遺跡群
第17図			
2	牛石遺跡	上帯那町128・他	地下式壙
3	西前田A遺跡	塚原町237・他	
4	観音寺跡	屋形3丁目8・他	

番号	遺　跡　名	所　在　地	備　　考
5	峰本南遺跡	屋形3丁目48・他	
6	岩窪A遺跡	岩窪町225・他	
7	一の森経塚遺跡	上積翠寺町1855	経塚
8	深草観音遺跡	上積翠寺町深草	廃寺跡
9	躑躅ヶ崎亭侯跡	古府中町3392・他	
10	山之神遺跡	山宮町3116・他	
11	亥ノ兎遺跡	東光寺3丁目3	
12	大六天遺跡	東光寺2丁目27	
13	殿屋敷遺跡	善光寺3丁目33	
14	銀杏之木遺跡	東光寺2丁目20・他	
15	六反田遺跡	東光寺2丁目5	
16	上郷遺跡	善光寺2丁目9・他	
17	本郷遺跡	善光寺3丁目27・他	
18	説教遺跡	東光寺1丁目12・他	
19	本郷B遺跡	善光寺3丁目4・他	
20	本郷C遺跡	善光寺1丁目5・他	
21	酒折遺跡	酒折3丁目8	
22	内林遺跡	酒折1丁目4	
23	中屋敷遺跡	桜井町790・他	
24	八木沢遺跡	横根町831・他	
25	山田遺跡	横根町1114・他	
26	村内南A遺跡	横根町1049・他	
27	矢下・大畑遺跡	横根町矢下・大畑	
28	村内石山遺跡	横根町1146・他	
29	山崎遺跡	横根町19-1・他	
30	村内南B遺跡	横根町村内	
31	大坪遺跡	横根町大橋・大坪	
32	十八田遺跡	桜井町537	
33	見餅遺跡	桜井町474	
34	長沢遺跡	和戸町1060・他	
35	清水遺跡	桜井町919・他	
36	中組遺跡	桜井町944・他	
37	新畑遺跡	桜井町978・他	
38	東組遺跡	桜井町1022・他	
39	上土器遺跡	桜井町246・他	
40	石川遺跡	川田町116・他	
41	横田遺跡	桜井町407・他	
42	起田遺跡	川田町59・他	
43	八枚畑A遺跡	和戸町1140・他	
44	亀田遺跡	川田町134・他	
45	北田遺跡	川田町255・他	
46	八枚畑B遺跡	和戸町259・他	
47	北村遺跡	川田町381・他	
48	満々下遺跡	和戸町満々下	
49	村西遺跡	徳行5丁目5・他	
50	大橋遺跡	国玉町大橋	
51	鎌作遺跡	国玉町646・他	
52	深田遺跡	国玉町609・他	
53	土尻遺跡	下小河原町29・他	多量の土師質土器片散布
54	大北耕地遺跡	大里町1320・他	
55	桜林A遺跡	宮原町桜林	
56	東耕地遺跡	大里町東耕地	
57	桜林B遺跡	宮原町249	
58	西耕地B遺跡	大里町4398	
59	西耕地A遺跡	大里町西耕地	多量の雑器片散布
60	西耕地C遺跡	大里町西耕地	
61	砂間遺跡	高室町砂間	
62	村前遺跡	堀之内町374・他	
63	金山遺跡	高室町金山	
64	柿ノ久弥遺跡	高室町柿ノ久弥750・他	
65	千松院遺跡	相生3丁目8・他	
66	太田町遺跡	太田町10-2・他	
67	廃般舟院遺跡	伊勢3丁目	廃寺跡
68	新紺屋遺跡	武田1丁目	
69	富士川小学校校庭遺跡	中央3丁目3	近世・代官所跡
70	武田城下町		
71	甲府城下町		

第３節　基礎層序

県庁構内の土層は大きく分けると表層のアスファルト（Ⅰ層）とその下位の砕石（Ⅱ層）、近現代の堆積土（Ⅲ層）、江戸期の堆積土（Ⅳ層）、江戸期の土塁層（Ⅴ層）、相川扇状地堆積物（Ⅵ層）、安山岩の風化層（Ⅶ層）、安山岩の岩盤（Ⅷ層）がある。

Ⅰ層・Ⅱ層：アスファルトは 5cm 前後である。砕石は 25cm 前後が基本であるが地点により異なる。表層はコンクリート盤や舗装タイルの場合もある。

Ⅲ層：層厚は 10 ～数 10cm で色調、粒径、しまり、包含物などは多様である。包含物には江戸期の瓦・陶磁器のほか近現代の瓦・陶磁器・瓶などで、江戸期の堆積土に多い黄褐色土や褐色土の粒子・ブロックを含むこともある。造成土・盛土と判別できるものもあれば、埋土・撹乱の一部分が層状をなしている可能性があるものもある。

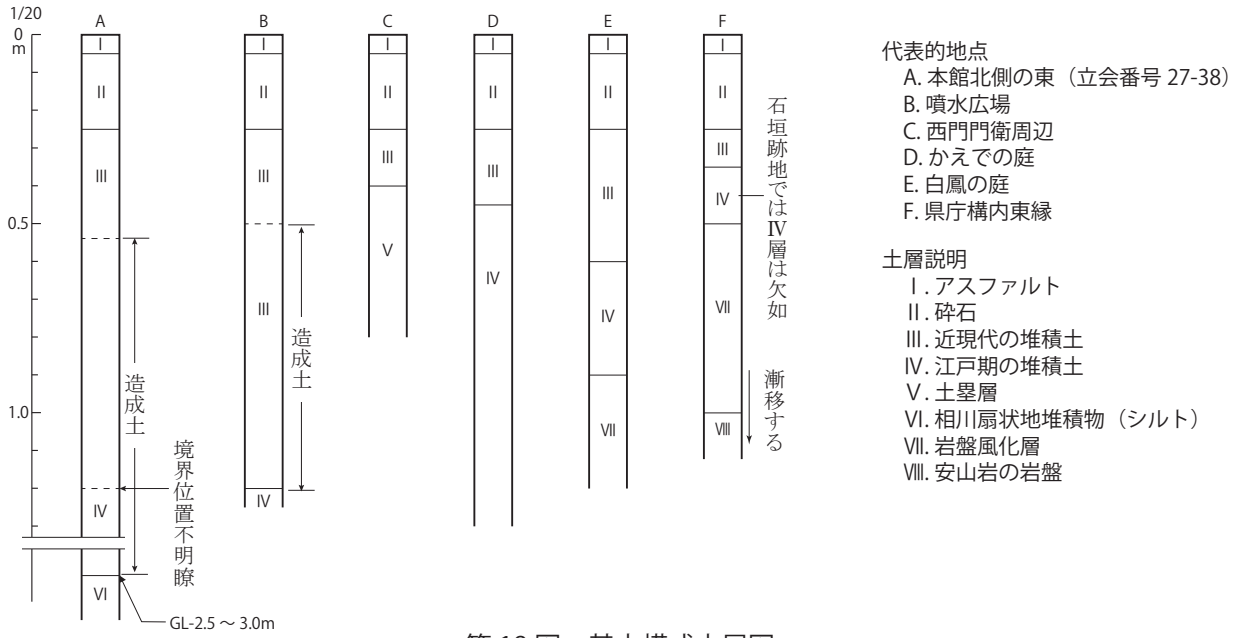
Ⅳ層：色調は黄褐色、明褐色、褐色を呈することが多いが、暗色の場合もある。10cm 以下の礫を含むことが多く、暗色の堆積土中には瓦溜りが点在する。出現深度は石組遺構の頂部の標高とほぼ同レベルであるでることが多い。なお、石垣や土塁などの遺構が取り壊された地点ではⅣ層はない。

Ⅴ層：黄褐色土を主体としており 10cm 以下の礫を多く含む。場所によっては色調の異なる互層をなしている。土塁に比定される県庁構内西端でⅠ～Ⅲ層の下に認められる。上位のⅠ～Ⅲ層の厚さは 30 ～ 70cm であり、その厚さの違いはⅤ層の削剥量やⅡ～Ⅲ層の盛土量の違いである。土塁層の深度は西門門衛付近で地表面下 160cm まで確認できたが、底部は不明である。

Ⅵ層：県庁本館北部南の深掘り部で、地表面下 2.8 m～ 3.0m 以深にて暗灰色シルトが堆積していた。自然堆積層であり、相川扇状地堆積物の最上部と思われる。

Ⅶ層：黄色～黄褐色を基調とし、上部では淡い赤色を含み深部では淡い緑色を呈する。深部ほど硬度が高く、未風化の安山岩礫を含むようになり第Ⅷ層に漸移していく。北別館南東部から別館東側南部付近では地表面下 30cm 前後で現われる。白鳳の庭西側ではⅣ層下の地表面下 90cm 前後で確認できるが、それ以西では確認できなかった。

Ⅷ層：本丸のある一条小山を構成する安山岩体の西麓部分に該当する。北東部付近（委員会室棟地点など）の地表面下約 1m で広く確認された。また、県庁構内東縁の地表面下 15 ～ 45cm でⅦ層中に安山岩の未風化礫が点在しており、これは岩盤の頂部の可能性がある。



第 18 図　基本模式土層図